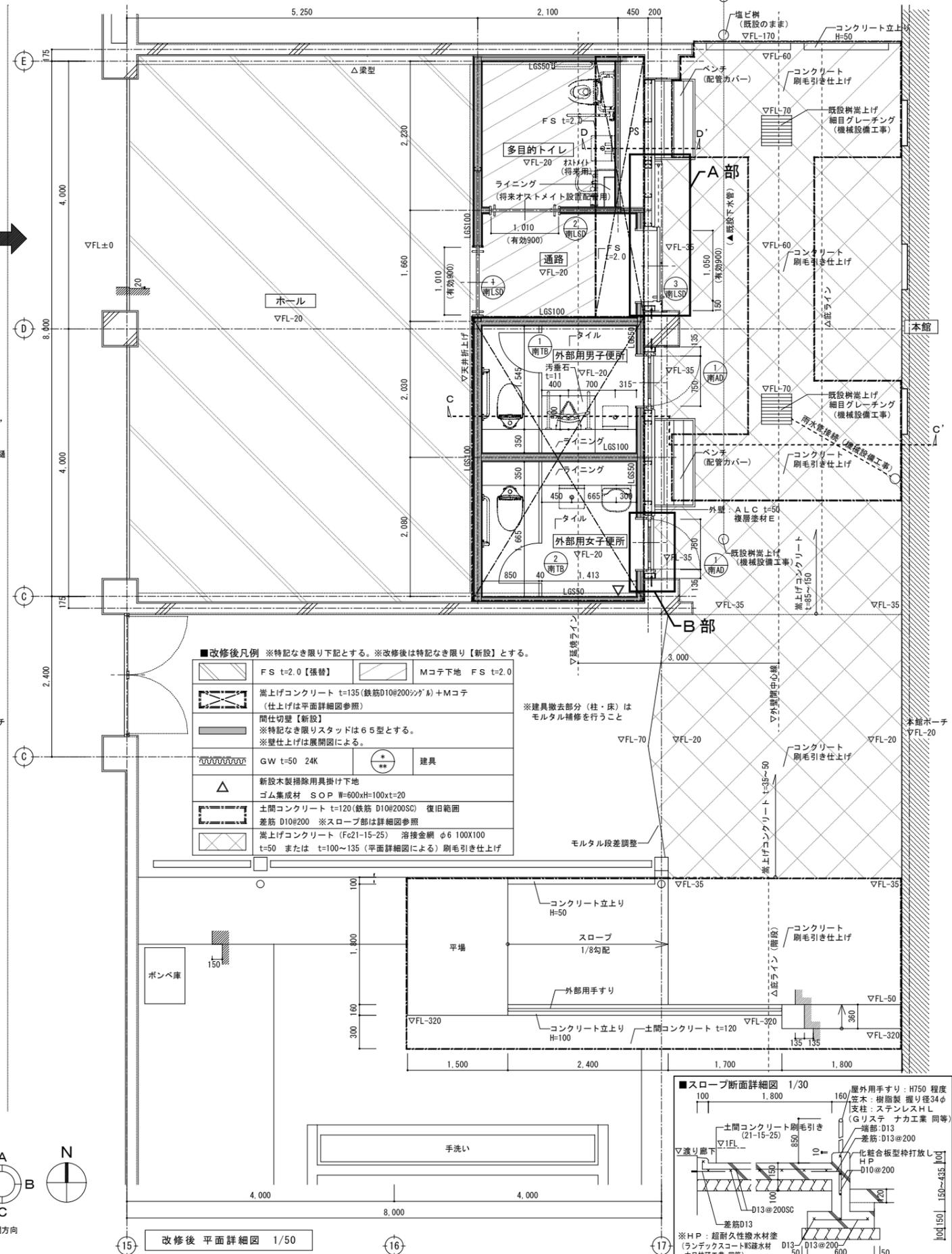
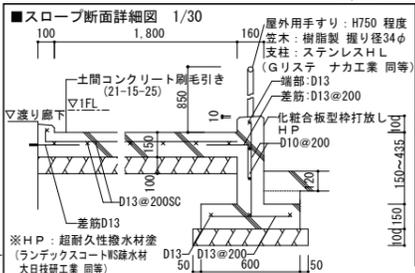
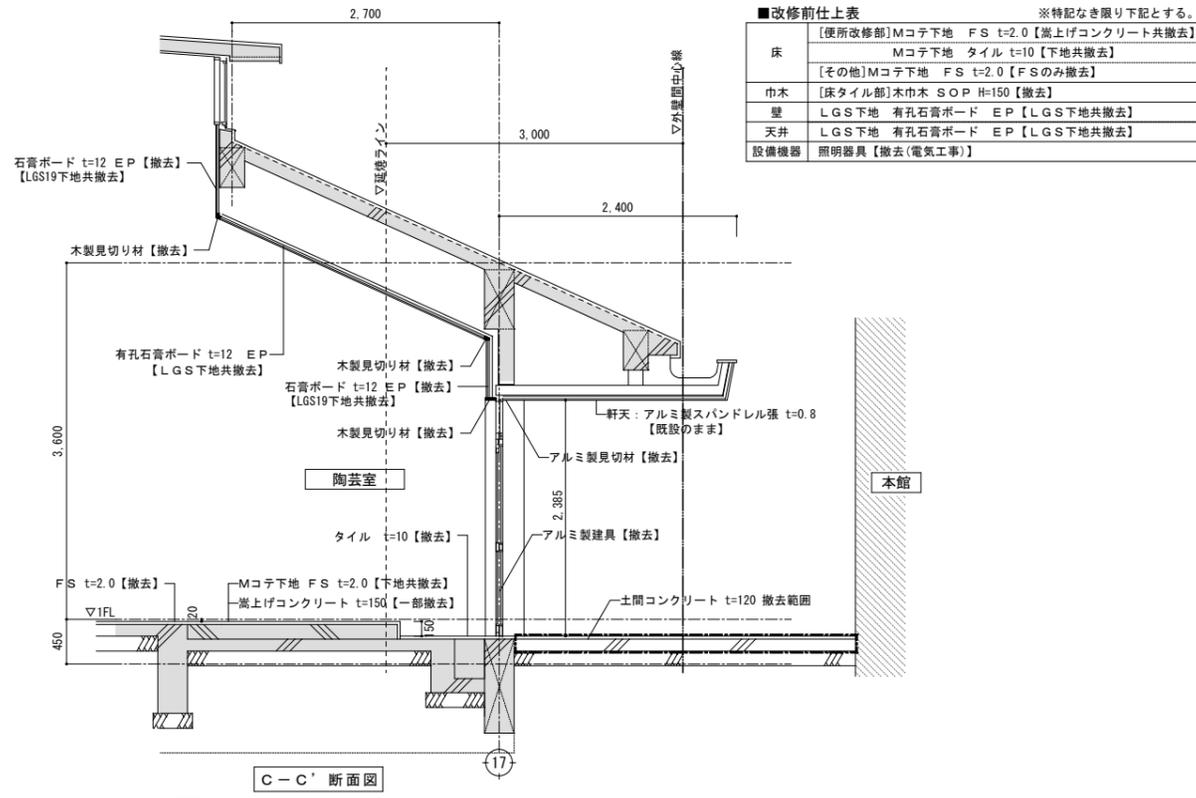


改修前 平面詳細図 1/50



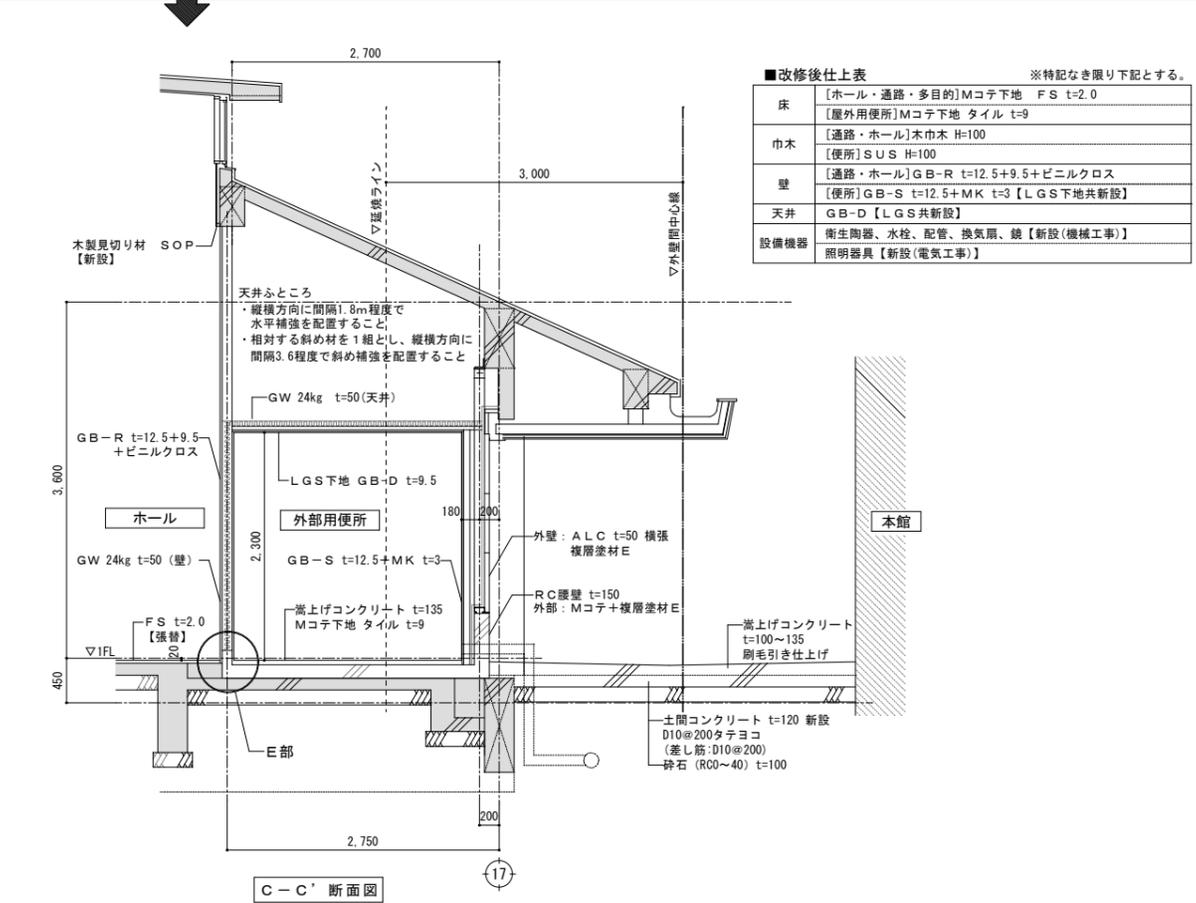
改修後 平面詳細図 1/50





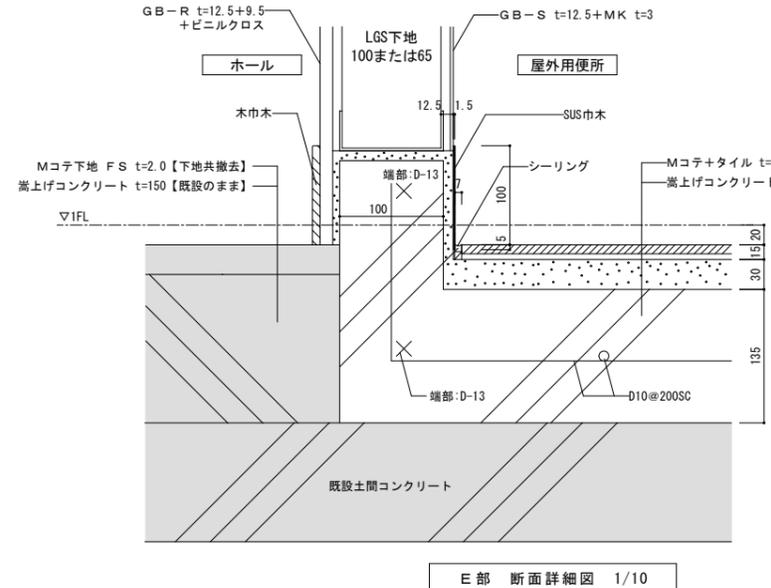
■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[便所改修部]Mコテ下地 FS t=2.0【撤去】	※特記なき限り下記とする。
	Mコテ下地 タイル t=10【下地共撤去】	
	[その他]Mコテ下地 FS t=2.0【FSのみ撤去】	
巾木	[床タイル部]木巾木 SOP H=150【撤去】	
壁	LGS下地 有孔石膏ボード EP【LGS下地共撤去】	
天井	LGS下地 有孔石膏ボード EP【LGS下地共撤去】	
設備機器	照明器具【撤去(電気工事)】	

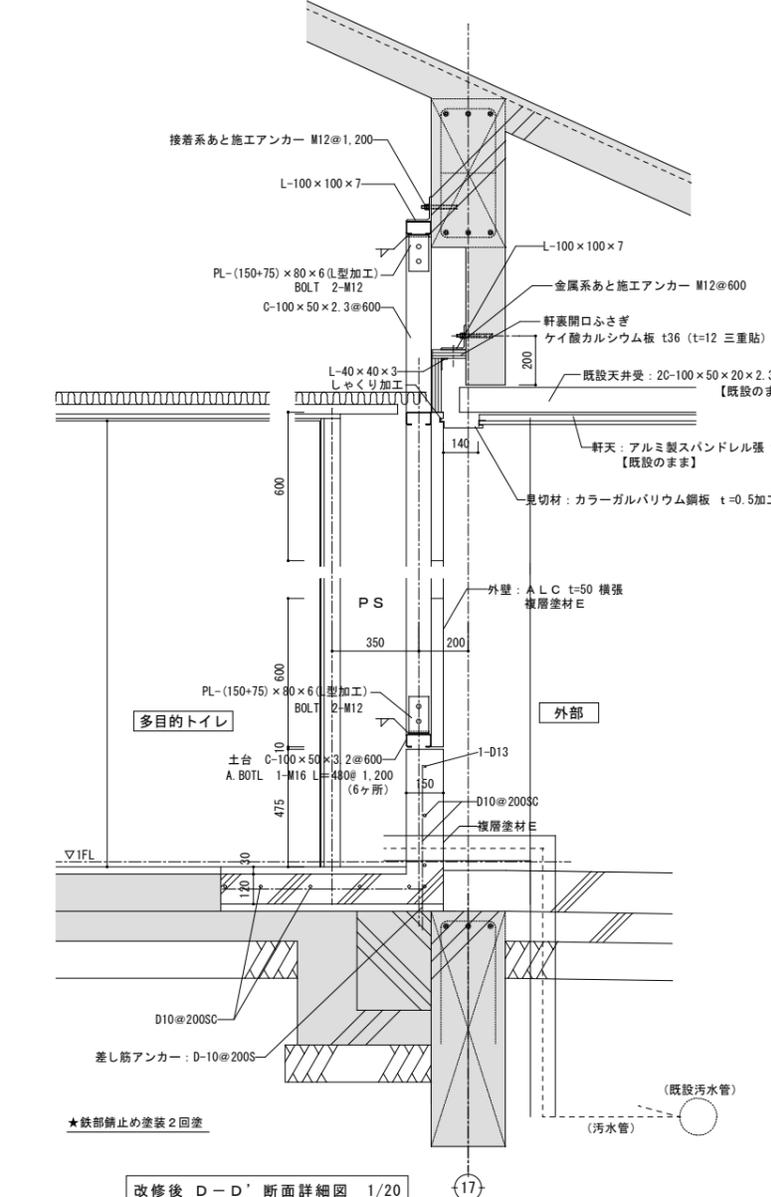


■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

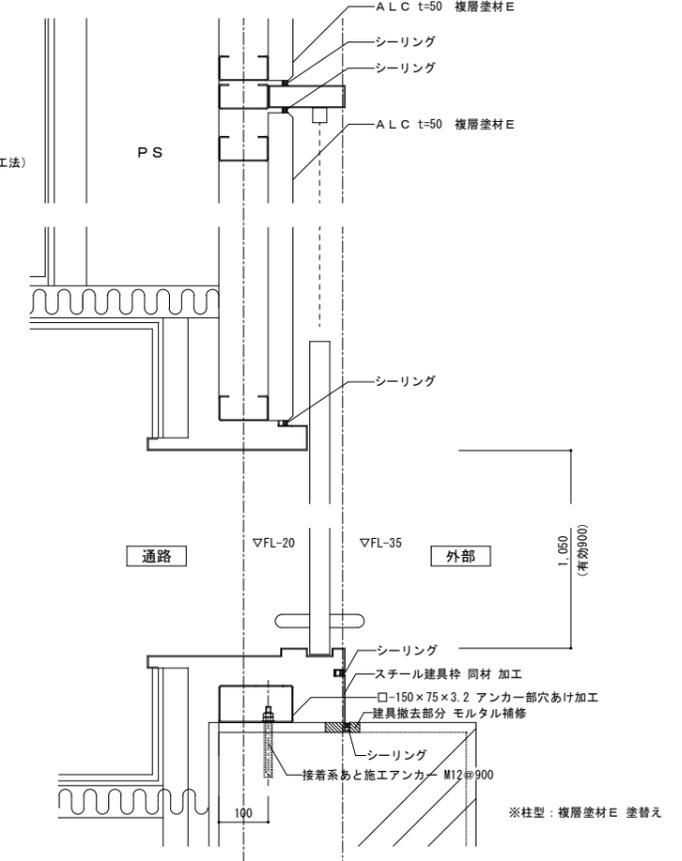
床	[ホール・通路・多目的]Mコテ下地 FS t=2.0	※特記なき限り下記とする。
	[屋外用便所]Mコテ下地 タイル t=9	
巾木	[通路・ホール]木巾木 H=100	
	[便所]SUS H=100	
壁	[通路・ホール]GB-R t=12.5+9.5+ビニルクロス	
	[便所]GB-S t=12.5+MK t=3【LGS下地共新設】	
天井	GB-D【LGS共新設】	
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇、鏡【新設(機械工事)】	
	照明器具【新設(電気工事)】	



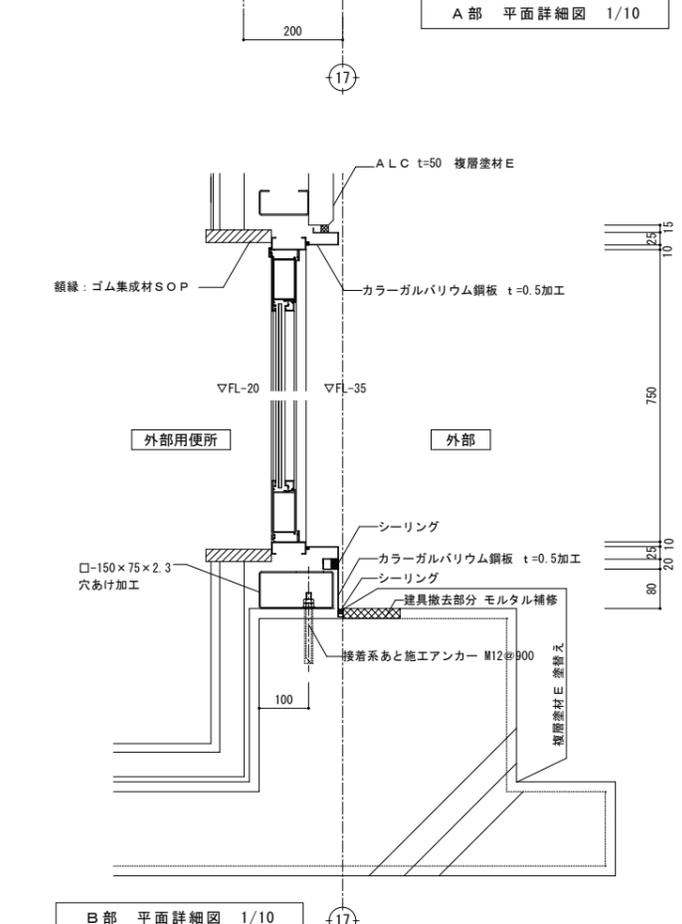
E部 断面詳細図 1/10



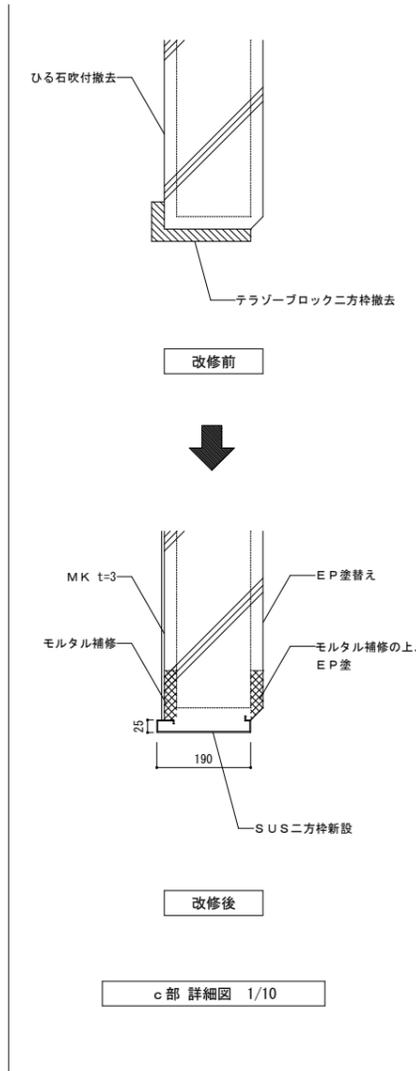
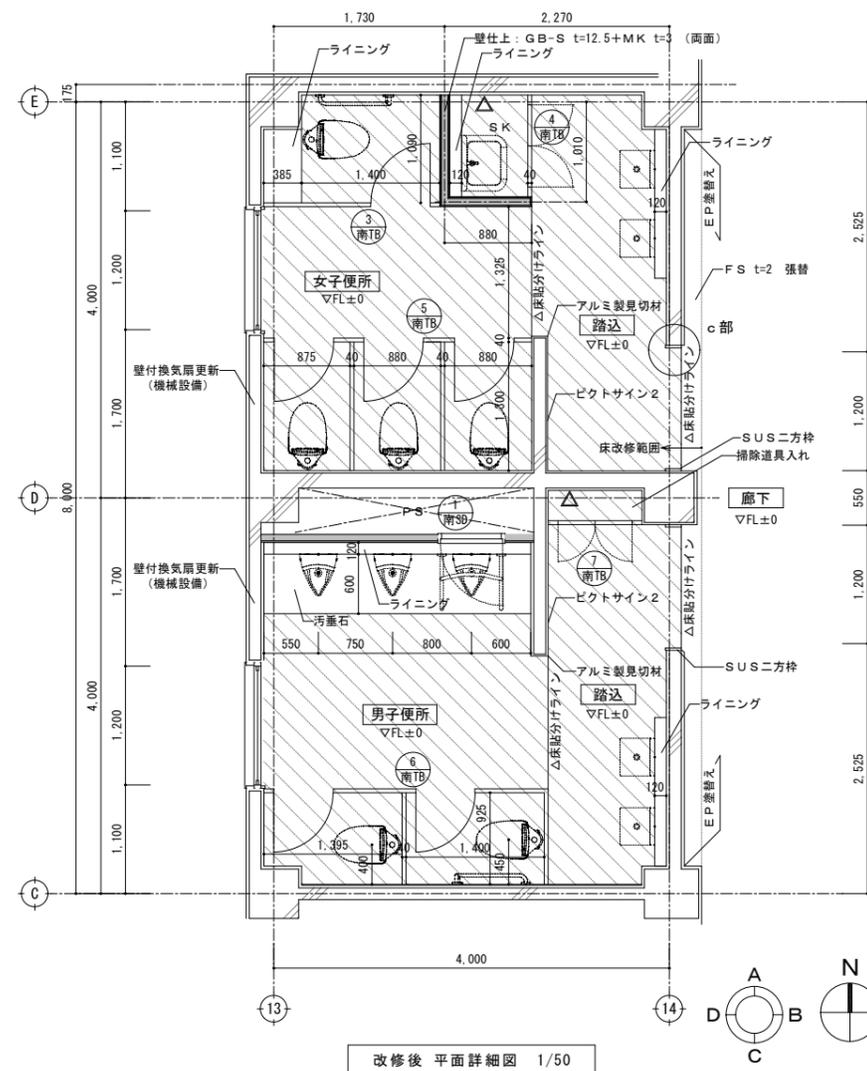
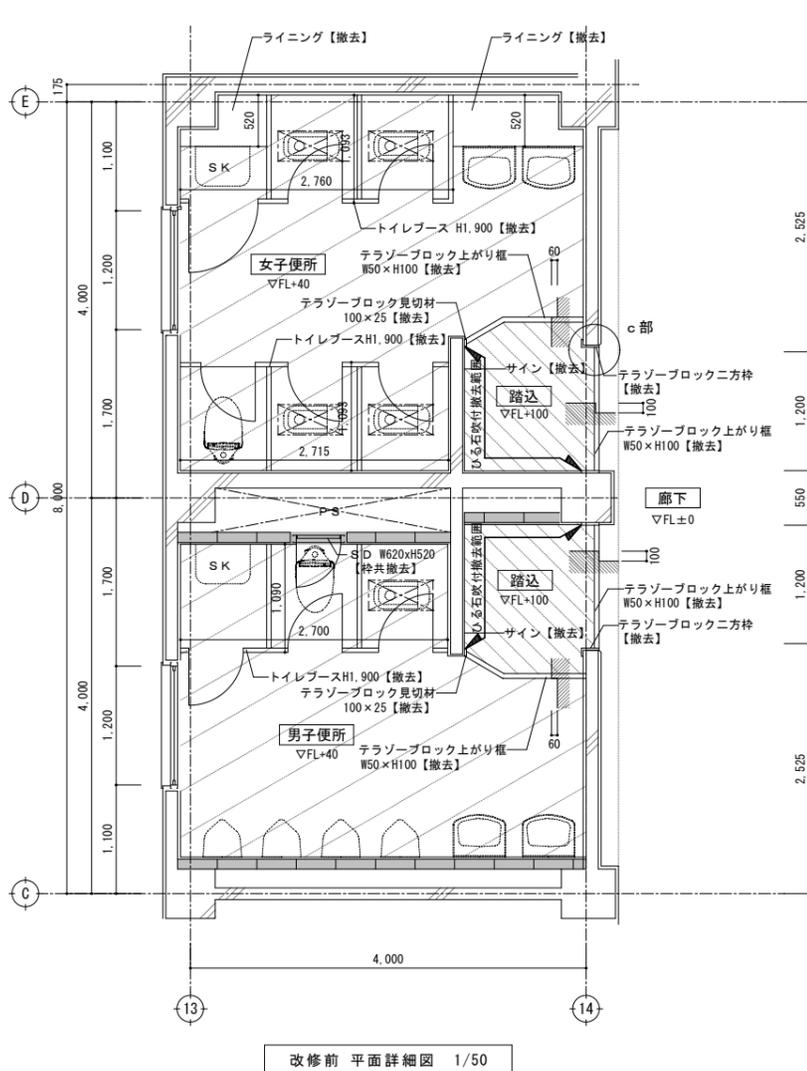
改修後 D-D' 断面詳細図 1/20



A部 平面詳細図 1/10



B部 平面詳細図 1/10



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	[踏込]Mコテ下地 人研ぎ【嵩上げコンクリート共撤去】 [便所]Mコテ下地 モザイクタイル【モルタル t=30程度共撤去】
巾木	[踏込]木巾木 SOP H=100【撤去】 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部撤去】
壁	[踏込]ひる石吹付(ウォールコートM)【撤去】《アスベスト含有なし》 [便所]Mコテ下地 100角タイル【浮き部撤去】 [便所]石綿FK t=6 SOP【撤去】※LGS再利用 《アスベスト工事 レベル3》(SOP石綿含有なし)
天井	衛生陶器、水栓、配管、換気扇、鏡【撤去(機械工事)】
設備機器	照明器具【撤去(電気工事)】

■改修前凡例

	モルタル下地 人研ぎ 【嵩上げコンクリート撤去】(2FLまで撤去)
	Mコテ下地 モザイクタイル【下地共撤去】
	既設CB t=100下地壁【撤去】 (上階スラブ下まで撤去)
	和便器撤去 床開口部補修 ※詳細図参照

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

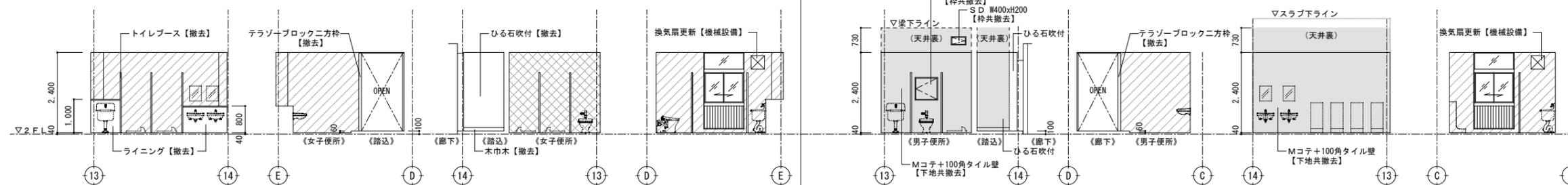
床	Mコテ下地 FS t=2.0 汚垂石 t=7
巾木	SUS H=100 (不陸調整タイプ)
壁	[踏込]下地調整の上、MK t=3 (モルタル面 ONタイル工法) [便所]既設100角タイルの上、MK t=3 (ONタイル工法)
天井	GB-D t=9.5 塩ビ製調り縁 ※LGS再利用
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、換気扇、鏡【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ下地 FS t=2.0
	LGS下地壁 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集成材 SOP W=600xH=100xt=20
	建具

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100

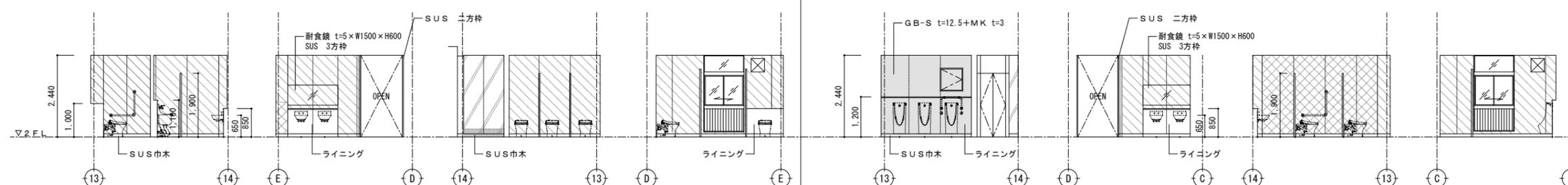


■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	Mコテ+100角タイル【浮き部補修】 ※タイル浮き部撤去・モルタル補修:31m程度
	Mコテ+100角タイル【モルタル共撤去】
	CB下地壁【撤去】 ※壁仕上げは展開図による。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

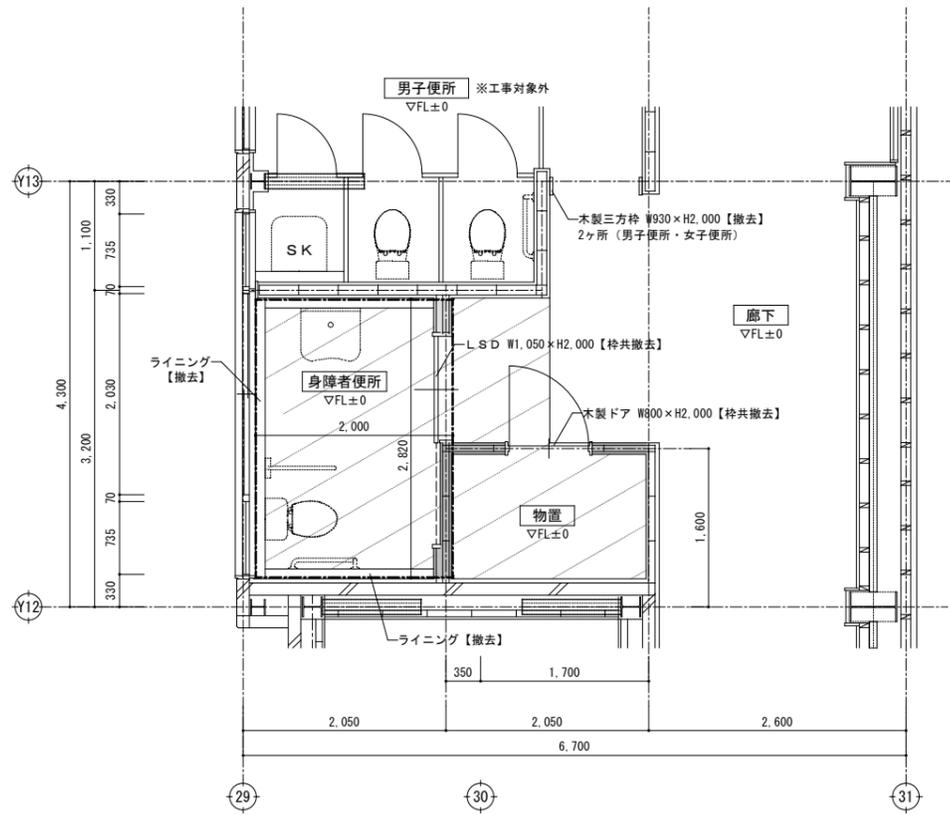
改修後 展開図 1/100



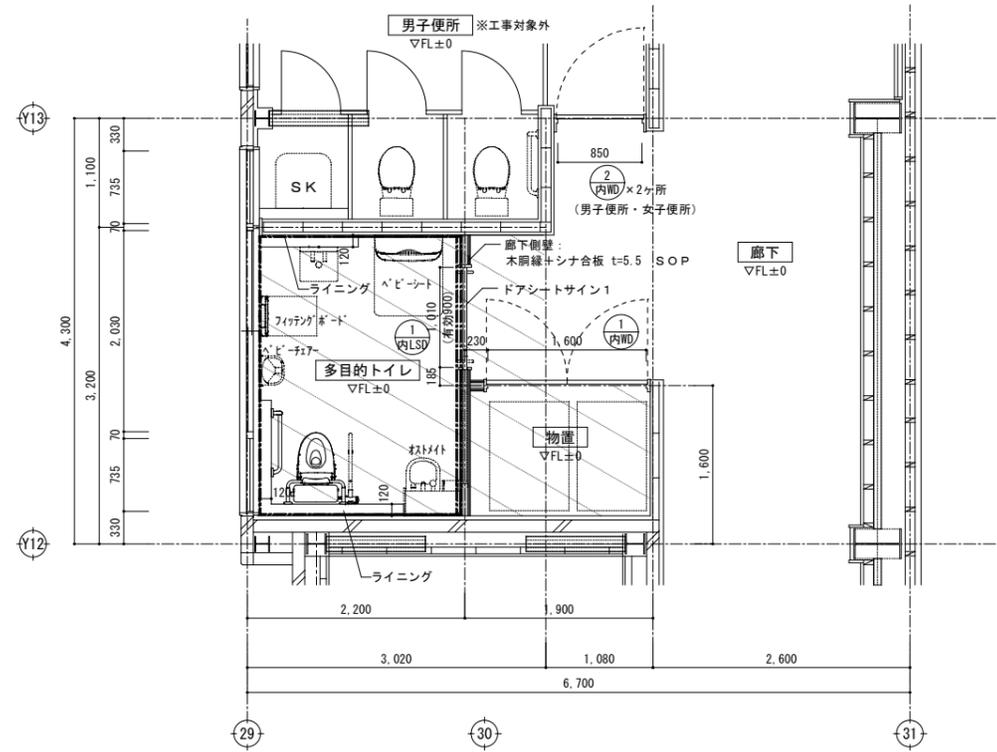
■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

	既設タイルの上、MK t=3 (ONタイル工法)
	Mコテ+MK t=3 (モルタル面ONタイル工法【不陸調整のため】)
	MK t=3 (モルタル面ONタイル工法【不陸調整のため】)
	モルタル補修 (木巾木・嵩上げコンクリート・二方枠撤去部)
	LGS下地壁 ※壁仕上げは展開図による。

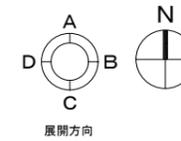
※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※特記なくとも、既設部分と新設部分が取合う箇所は、モルタル補修を行う事。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種)とする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50



■改修前仕上表 ※特記なき限り下記とする。

床	Mコテ下地 FS t=2.5【FSのみ撤去】 (一部、土間コンクリート撤去)
巾木	【便所・倉庫】塩ビ巾木 H=100【撤去】 【廊下】木巾木 H=100【撤去】
壁	【便所】GB-S t=12.5+化粧FK t=5【撤去】 【物置・廊下】シナ合板 t=5.5 SOP【撤去】
天井	GB-D t=9.5【GB-Dのみ撤去】 塩ビ張り縁【撤去】
設備機器	衛生陶器、水栓、配管【撤去(機械工事)】 照明器具【撤去(電気工事)】 鏡【撤去(機械工事)】

■改修前凡例

	Mコテ下地 FS t=2.5【FSのみ撤去】
	既設LGS下地壁【撤去】
	土間コンクリート t=120(鉄筋D13@150SW) 撤去範囲

■改修後仕上表 ※特記なき限り下記とする。

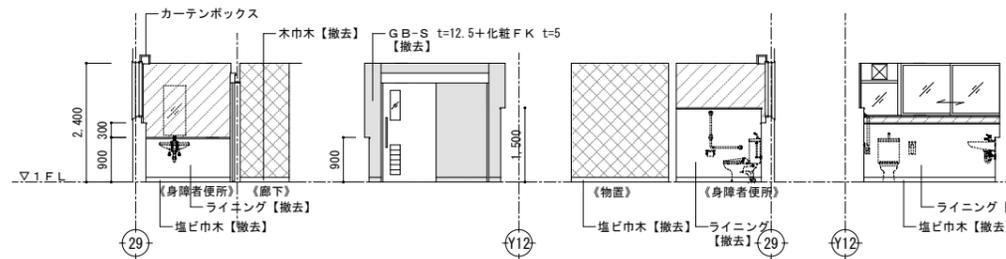
床	Mコテ下地 FS t=2.0 (一部、土間コンクリート新設)
巾木	【多目的トイレ】SUS巾木 H=100 (不陸調整タイプ) 【物置】塩ビ巾木 H=100 【廊下】木巾木 H=100
壁	【多目的トイレ】GB-S t=12.5+MK t=3 【物置・廊下】シナ合板 t=5.5 SOP
天井	GB-D t=9.5、塩ビ張り縁 ※LGS下地再利用
設備機器	衛生陶器、水栓、配管、鏡【新設(機械工事)】 照明器具【新設(電気工事)】

■改修後凡例 ※特記なき限り下記とする。

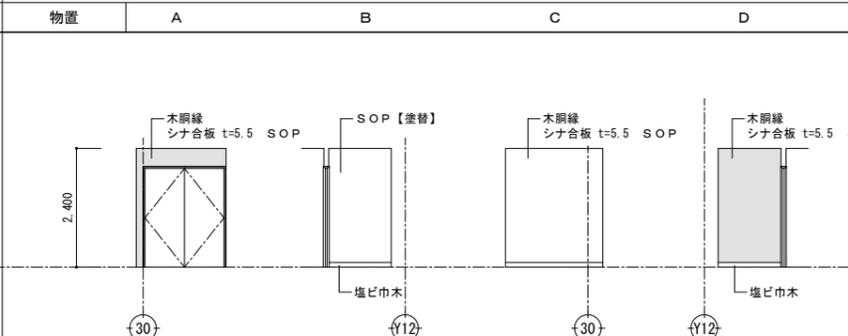
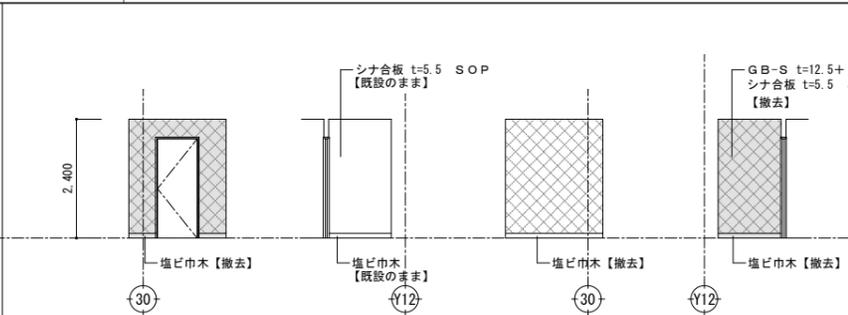
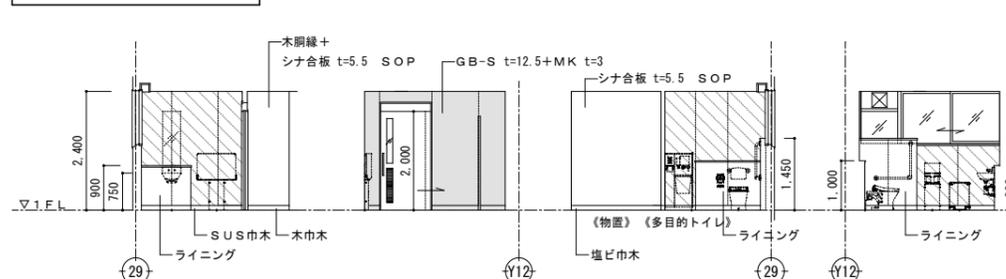
	土間コンクリート t=120(鉄筋D13@150SW) 四周差筋 D13@200
	Mコテ下地 FS t=2.0
	間仕切壁 ※特記なき限りスタッドは65型とする。 ※壁仕上げは展開図による。
	新設木製掃除用具掛け下地 ゴム集材材 SOP W=500xH=100xt=20

※改修後は特記なき限り【新設】とする。

改修前 展開図 1/100



改修後 展開図 1/100



■改修前 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

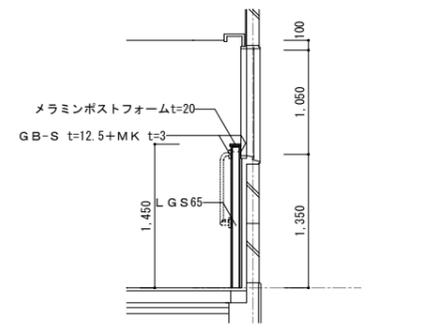
- GB-S t=12.5+化粧FK t=5【撤去】
- 木脚縁+シナ合板 t=5.5【撤去】
- LGS下地壁【撤去】
※壁仕上げは展開図による。

※改修前は特記なき限り【既設のまま】とする。

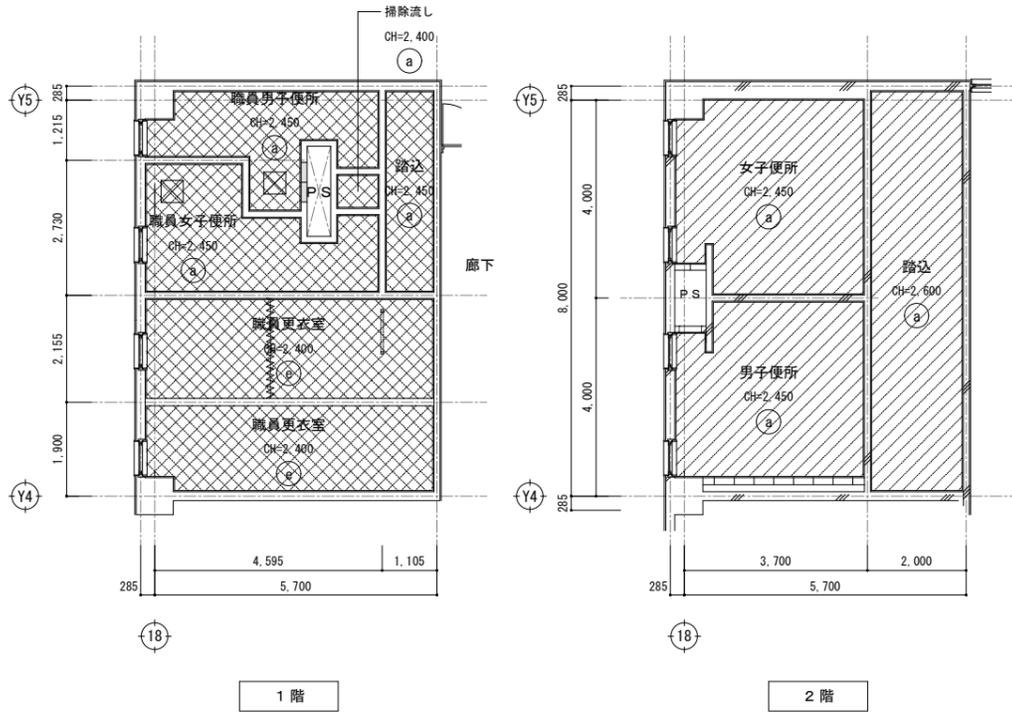
■改修後 展開図 凡例 ※特記なき限り下記とする。

- GB-S t=12.5+MK t=3
- LGS下地壁
- ※壁仕上げは展開図による。

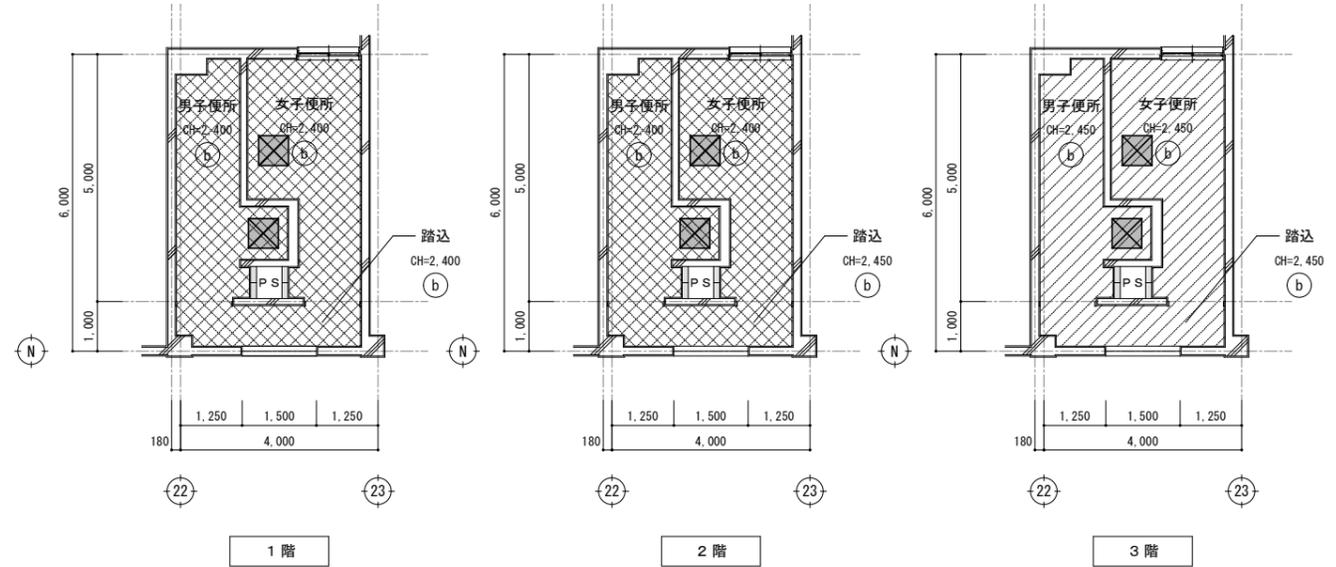
※改修後は特記なき限り【新設】とする。
※特記なくとも、既設部分と新設部分が取合う箇所は、モルタル補修を行う事。
※塗替部は、特記なき限り既設塗装下地調整 (RB種)とする。



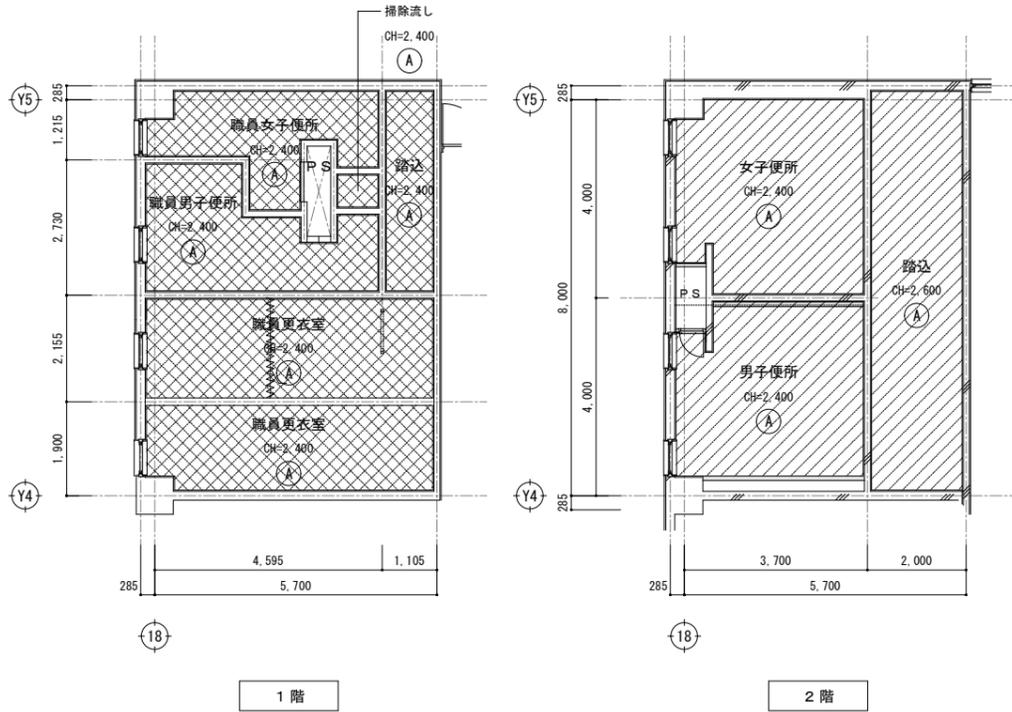
多目的トイレ D面ライニング詳細図 1/50



本館 天井伏図

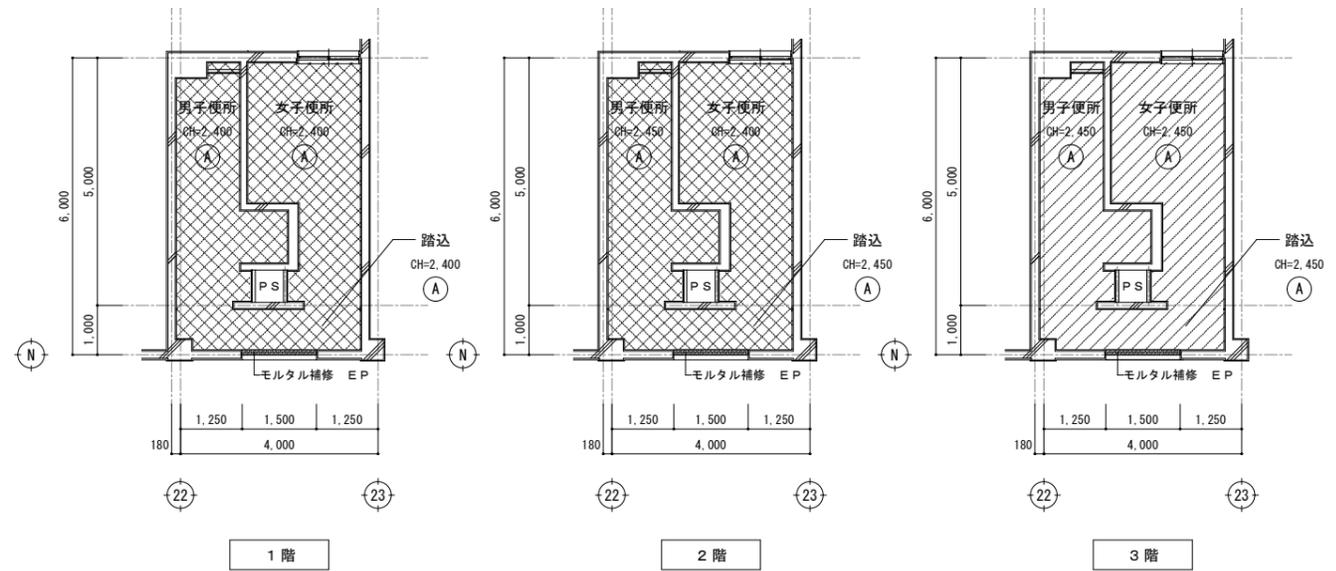


北舎 天井伏図



本館 天井伏図

天井点検口 (450角)
縦線タイプ: 6ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。



北舎 天井伏図

天井点検口 (450角)
縦線タイプ: 6ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。

■改修前 凡例

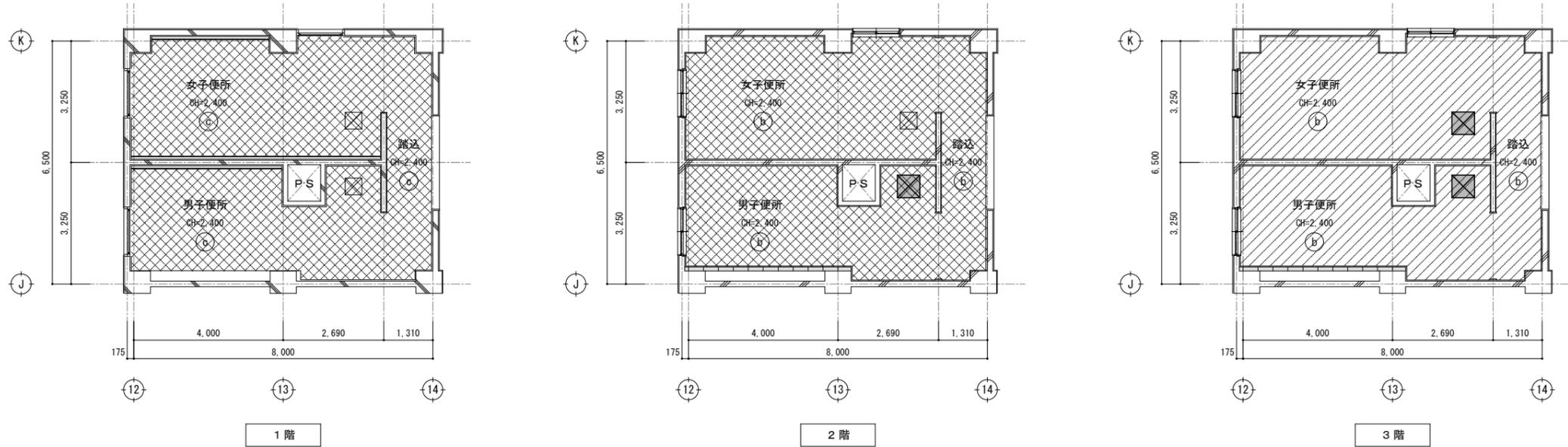
(a)	FK t=6 パーライト吹付 【LGS共撤去】 《アスベスト レベル3》 (パーライトは石綿なし)
(b)	石綿FK t=6 SOP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》 (SOPは石綿なし)
(c)	GB-D t=9.5 【撤去】
(d)	有孔石膏ボード t=12 EP 【撤去】
(e)	GB-R t=9 VP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》
[Hatched Box]	天井仕上 【撤去】
[Cross-hatched Box]	天井仕上 【LGS下地共撤去】
[Square with X]	天井点検口 450角 【撤去】
[Square with X]	天井点検口 600角 【撤去】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は廊下FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。

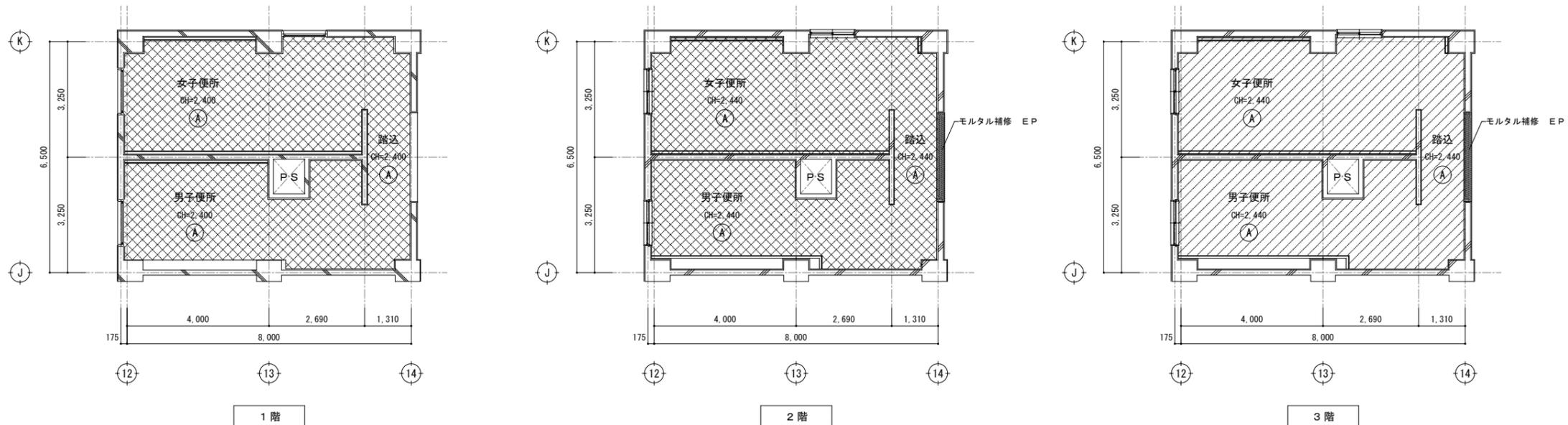
■改修後 凡例

(A)	GB-D t=9.5 【新設】
[Hatched Box]	天井仕上 【新設】
[Cross-hatched Box]	天井仕上 【LGS下地共新設】
[Square with X]	天井点検口 450角 【新設】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は基準FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。



中舎 天井伏図



中舎 天井伏図
天井点検口 (450角)
額縁タイプ: 6ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。

■改修前 凡例

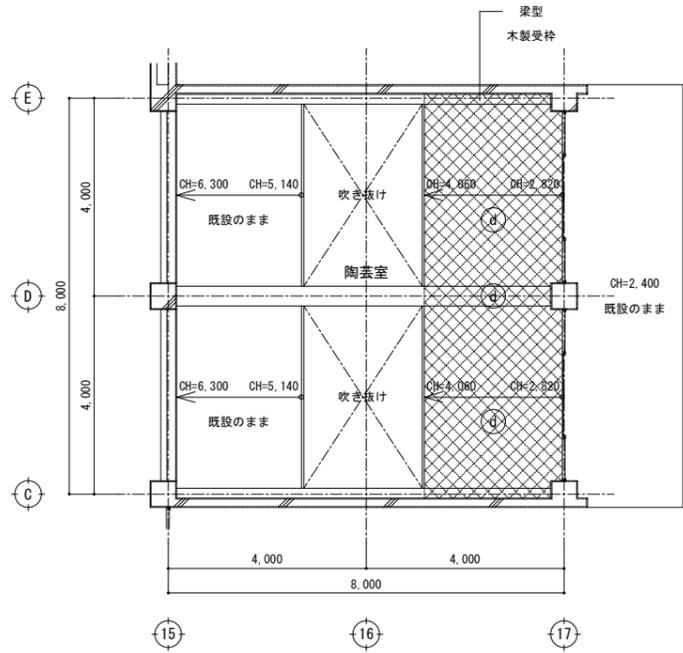
(a)	FK t=6 パーライト吹付 【LGS共撤去】 《アスベスト レベル3》(パーライトは石綿なし)
(b)	石綿FK t=6 SOP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》(SOPは石綿なし)
(c)	GB-D t=9.5 【撤去】
(d)	有孔石膏ボード t=12 EP 【撤去】
(e)	GB-R t=9 VP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》
[Hatched]	天井仕上 【撤去】
[Cross-hatched]	天井仕上 【LGS下地共撤去】
[Square with X]	天井点検口 450角 【撤去】
[Square with X]	天井点検口 600角 【撤去】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は廊下FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。

■改修後 凡例

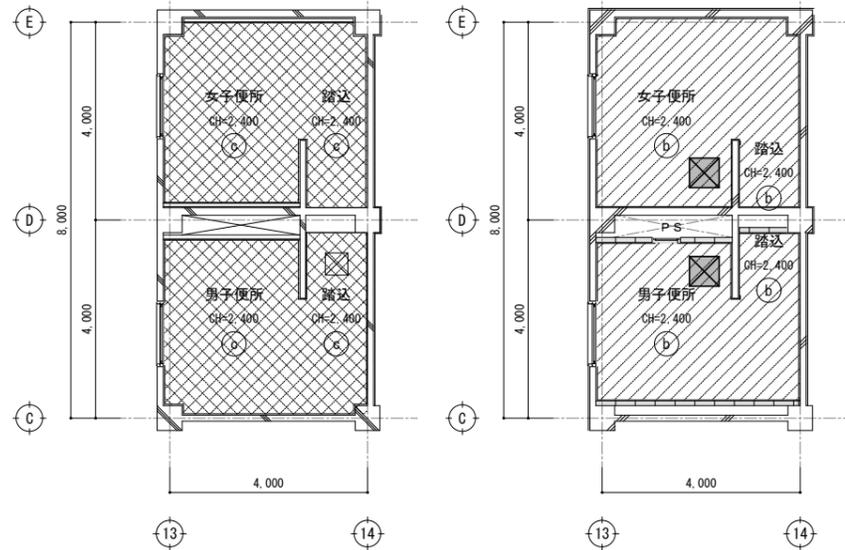
(A)	GB-D t=9.5 【新設】
[Hatched]	天井仕上 【新設】
[Cross-hatched]	天井仕上 【LGS下地共新設】
[Square with X]	天井点検口 450角 【新設】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は基準FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。



陶芸室

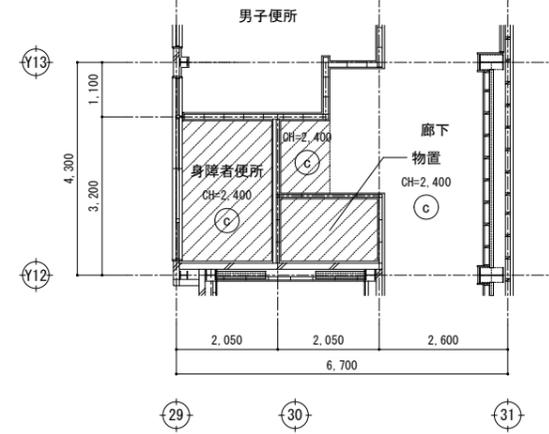
南舎 天井伏図



1階

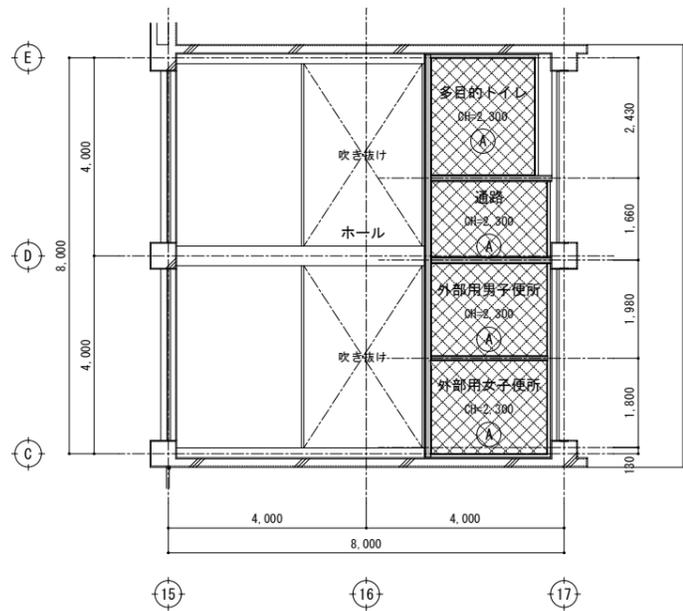
2階

南舎 天井伏図



身障者便所

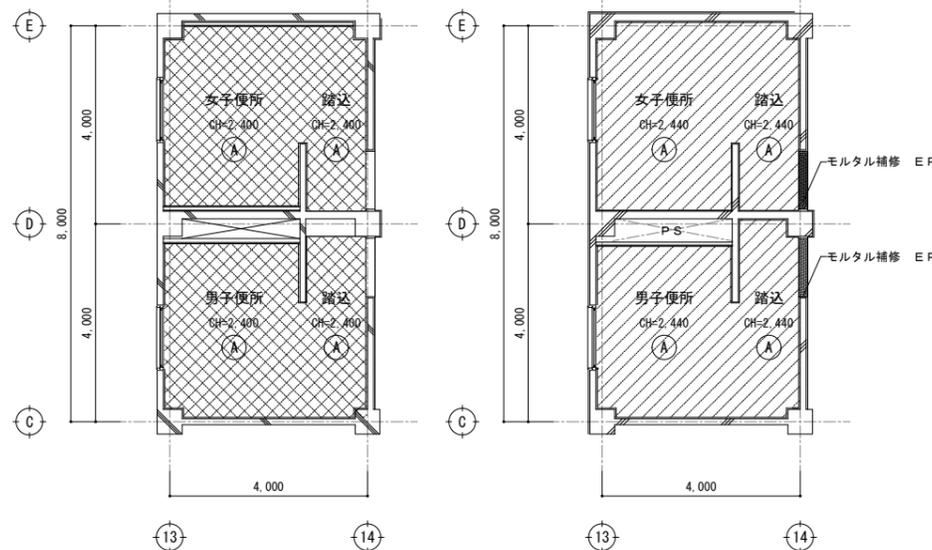
屋内運動場 天井伏図



多目的トイレ

南舎 天井伏図

天井点検口 (450角)
額縁タイプ: 3ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。

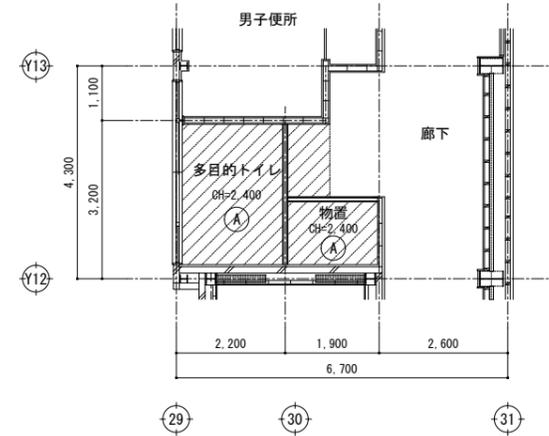


1階

2階

南舎 天井伏図

天井点検口 (450角)
額縁タイプ: 4ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。



多目的トイレ

屋内運動場 天井伏図

天井点検口 (450角)
額縁タイプ: 1ヶ所 位置は監督員との協議に拠る。

■改修前 凡例

(a)	FK t=6 パーライト吹付 【LGS共撤去】 《アスベスト レベル3》(パーライトは石棉なし)
(b)	石綿FK t=6 SOP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》(SOPは石棉なし)
(c)	GB-D t=9.5 【撤去】
(d)	有孔石膏ボード t=12 EP 【撤去】
(e)	GB-R t=9 VP 【撤去】 《アスベスト工事 レベル3》
[Hatched Box]	天井仕上 【撤去】
[Cross-hatched Box]	天井仕上 【LGS下地共撤去】
[Square with X]	天井点検口 450角 【撤去】
[Square with X]	天井点検口 600角 【撤去】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は基準FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。

■改修後 凡例

(A)	GB-D t=9.5 【新設】
[Hatched Box]	天井仕上 【新設】
[Cross-hatched Box]	天井仕上 【LGS下地共新設】
[Square with X]	天井点検口 450角 【新設】

※天井LGS下地撤去部の埋込みインサートは既設利用とする。
既設利用が難しい場合は監督員との協議による。
※CH=***は基準FLからの高さを示す。
※特記なき限り、既設のままとする。

符号	数量	① 本SD	1	② 本SD	1	③ 本SD	1	① 本AW	3	② 本AW	1	① 本TB	1	② 本TB	1	③ 本TB	1	④ 本TB	1	⑤ 本TB	1
姿図・寸法																					
型式		スチール製片開き戸		スチール製片開き戸		スチール製片開き戸		アルミ製開き窓+FIX窓		アルミ製開き窓+FIX窓		トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース (両板)		トイレブース	
枠見込 / (扉見込)		200 / (40)		160 / (40)		50		-		-		(40)		(40)		(40)		(40)		(40)	
仕上		SOP		SOP		SOP		-		-		メラミン化粧板									
ガラス		-		-		-		-		-		-		-		-		-		-	
金物		BH、LH、ストッパー		BH、分電盤錠		BH、分電盤錠		-		-		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK									
備考																					

符号	数量	⑥ 本TB	1	⑦ 本TB	1	⑧ 北SD	3	⑨ 北TB	3	⑩ 北TB	3	⑪ 中AF	4	⑫ 中SD	2	⑬ 中TB	2	⑭ 中TB	2	⑮ 中TB	2
姿図・寸法																					
型式		トイレブース		トイレブース		スチール製片開き戸		トイレブース		トイレブース		アルミ製パーテーション		スチール製片開き戸		トイレブース		トイレブース		トイレブース	
枠見込 / (扉見込)		(40)		(40)		160 / (40)		(40)		(40)		-		160 / (40)		(40)		(40)		(40)	
仕上		メラミン化粧板		メラミン化粧板		SOP		メラミン化粧板		メラミン化粧板		-		SOP		メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板	
ガラス		-		-		-		-		-		ポリカーボネート板 t=5 (すりガラス調マット)		-		-		-		-	
金物		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		BH、分電盤錠		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠		SUS巾木、FK		BH、分電盤錠		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK	
備考																					

符号	数量	⑯ 中TB	2	⑰ 中TB	2	⑱ 南LSD	1	符号			ガラス			金物			品質・性能 建築材料等品質性能表による			仕上げについては下記の表による。		
姿図・寸法																						
型式		トイレブース		トイレブース		鋼製片引きハンガードア(壁収納)																
枠見込 / (扉見込)		(40)		(40)		165 / (40)																
仕上		メラミン化粧板		メラミン化粧板		指定色焼付塗装(枠:DP)																
ガラス		-		-		-																
金物		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		アルミエッジ、SUS珪つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK		CK、抗菌ハンドル、半自動閉鎖装置 FK、エンドストッパー																
備考																						

SD	鋼製戸	FL	フロートガラス	C	空錠
SW	鋼製窓	F	型板ガラス	CK	シリンダー本錠錠
SG	鋼製ガラリ	PW	網入り磨きガラス	TK	表示錠(非常閉閉付)
SS	鋼製重畳シャッター	FW	網入り型板ガラス	EK	電気錠
LD	鋼製軽量戸	TG	強化ガラス	BH	T番
LSD	鋼製軽量上吊り戸	TH	強化ガラス	PH	ピボットヒンジ
AD	アルミ製戸	FTG	型板強化ガラス	FH	フロアヒンジ
AW	アルミ製窓	Low-E	Low-Eガラス	DC	ドアフック ストップ 無
AG	アルミ製ガラリ	LG	合わせガラス	DC-S	ドアフック ストップ 有
AS	アルミ製シャッター	GB	ガラスブロック	AH	オートヒンジ
		HAP	熱線吸収70-付 51	LH	レバーハンドル
		HANP	熱線吸収網入り磨きガラス	CH	ケースハンドル
WD	木製戸	HR	熱線反射ガラス	AF	アルミ網線
WW	木製窓	DS	倍強化ガラス	AM	アルミ見切
WSP	木製学校間仕切	A	空気層	SK	ステンレス音槽
WG	木製ガラリ			SF	スチール枠
		SLW	移動間仕切り	MD	網戸
		H	ふすま	FK	付属金物一式
		P	障子	OS	排煙オペレーター
		TB	トイレブース		

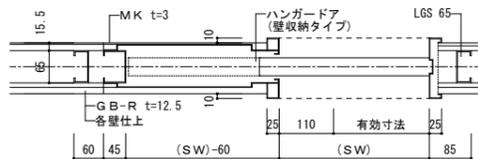
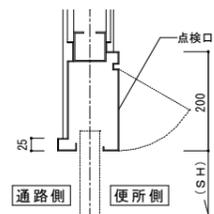
レバーハンドル1		
レバーハンドル2		
引手1		
引手2		
磁込取手		
排煙オペレーター	・SL88 (隠蔽式) ・SL80 (露出式)	
操作ボックス	ハンドルボックス110-3 (埋込式)	

符号	種別	符号	種別
H	電解着色(指定色)	HL	ヘアーライン

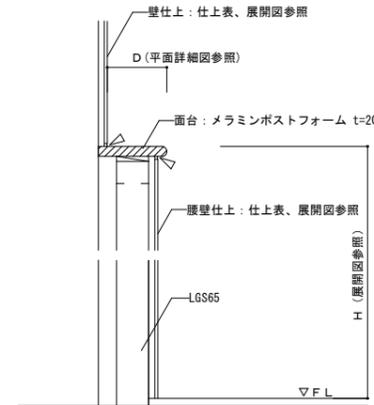
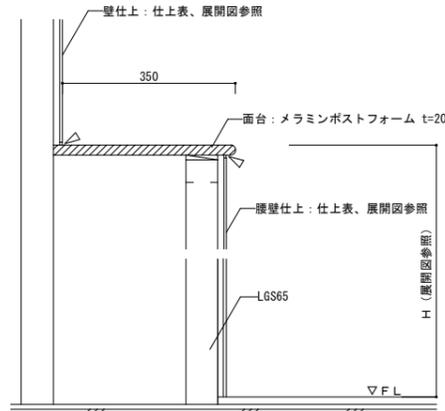
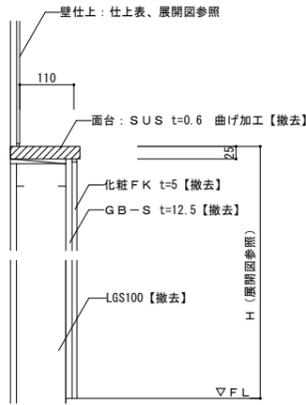
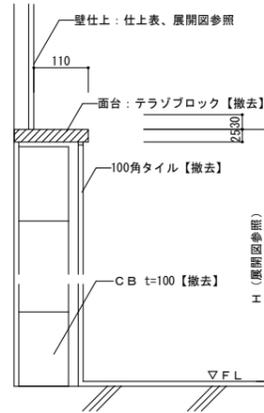
SD、SW、SG、SS、LD、LSDのDP仕上げは、外部側:DP-1、内部側:DP-3

- 設計図及び本表に示す寸法は、概略を示すものであり、施工に当たっては現場寸法の検尺を行う事。
- 施工図は、現場員が各部の寸法・納まりを検討し、検印の上係員に提出し、承認を受ける事。
- 扉の開き勝手は、平面図及び展開図による。
- 引違いアルミサッシは、内外し方式障子とし、自動外れ止め装置とする。
- 姿図中、Pは 断熱アルミパネル を示す。(アルミサッシに限る)
- 複層ガラスの表記は、内部 + 中空層 + 外部の順とする。
- 建具に組み込む明り窓及びガラリの枠は、エッジレスタイプとする。
- 網戸は、・SUS製 ○ガラスファイバー製 とする。
- 戸当金物(床付・壁付)の有無は、現場指示による。
- 特記無きドアガラリは、へ型とし、ドアと同材にて作製する。

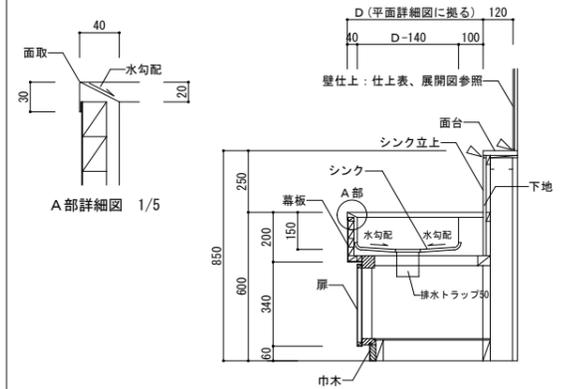
符号	数量	2 南LSD	1	3 南LSD	1	1 南AD	2	1 南SD	1	1 南TB	1	2 南TB	1	3 南TB	1	4 南TB	1	5 南TB	1	6 南TB	1		
図・寸法																							
型式		鋼製片引きハンガードア(壁収納)	鋼製片引きハンガードア	アルミ製扉ドア	スチール製片引き戸	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	トイレブース	
枠見込/(扉見込)		125/(40)	370/(40)	200/(40)	160/(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	
仕上		指定色焼付塗装(枠:DP)	指定色焼付塗装(枠:DP)	H	SOP	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	
ガラス		FG4	-	PW6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
金物		TK、抗菌ハンドル、半自動閉鎖装置 ガラリ、FK	CK、抗菌ハンドル、半自動閉鎖装置 ガラリ、FK	LH、BH、DC-S(鍵なし)	BH、分電盤錠	アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK	アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK	アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠	アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、スライド錠、SUS巾木、FK	アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、表示付打掛錠、SUS巾木、FK													
備考			防火設備	大臣認定防火設備(個別認定)BGE31同等																			
符号	数量	7 南TB	1	1 内LSD	1	1 内WD	1	2 内WD	2														
図・寸法																							
型式		トイレブース	鋼製片引きハンガードア(壁収納)	木製両開き戸 木枠共	木製片引きフラッシュ戸 木枠共																		
枠見込/(扉見込)		(40)	125/(40)	(40)	(40)																		
仕上		メラミン化粧合板	指定色焼付塗装(枠:DP)	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板																		
ガラス		-	FG4	-	FG t=4																		
金物		アルミエッジ、SUS頭つなぎ、中心吊グレベティヒンジ 取手、戸当り、スライド錠、SUS巾木、FK	TK、抗菌ハンドル、半自動閉鎖装置 ガラリ、FK	取っ手、BH、CK、DC-S フランス落とし	LH、BH、DC-S(鍵なし)																		
備考																							



鋼製ハンガードア 枠(壁収納タイプ) 1/10



- SUS手洗い仕様**
- 面台: メラミンポストフォーム t=20
 - シンク: SUS t=0.8、裏面断熱材吹付
 - シンク立上: SUS t=0.8
 - 下地: GB-S t=12.5
 - 扉板: メラミンパーティクルボード t=25
 - 扉: メラミン化粧合板フラッシュ t=20
 - フライト丁番(キャッチ付)、取手
 - 巾木: メラミンパーティクルボード t=25



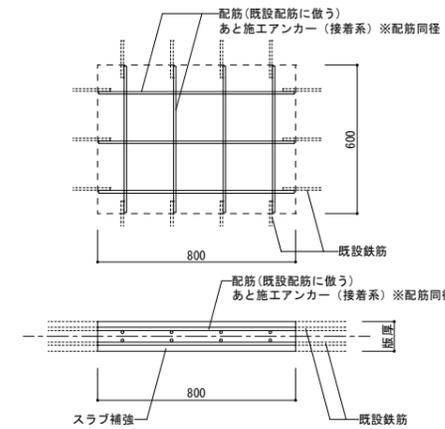
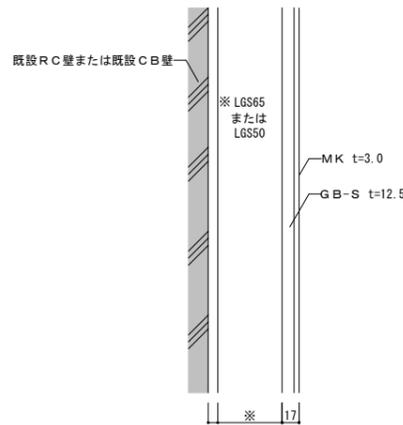
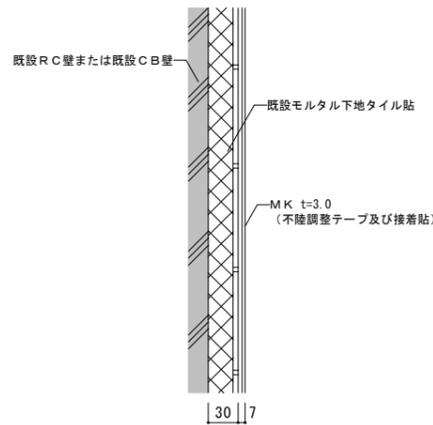
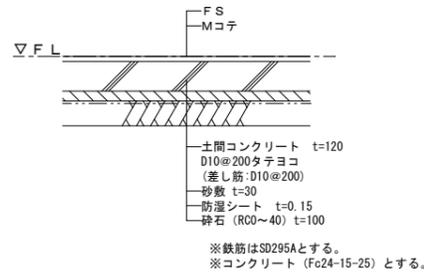
本館・北舎・中舎・南舎 既設ライニング【撤去】 1/10

屋内運動場 既設ライニング【撤去】 1/10

屋外用便所
ライニング(面台:メラミンポストフォーム)【新設】 1/10

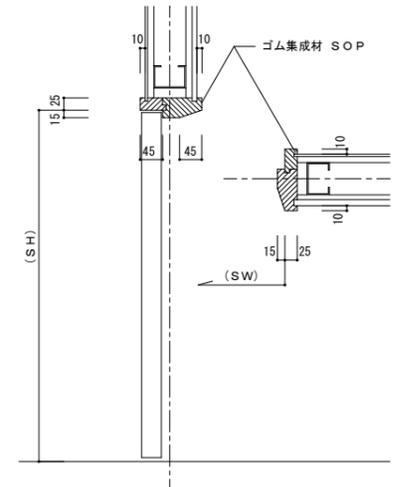
屋外用便所以外
ライニング(面台:メラミンポストフォーム)【新設】 1/10

SUS手洗い【新設】 1/20



既設配筋リスト					
室名	分類	版厚(mm)	位置	短辺方向	長辺方向
本館・北舎 中舎・南舎	スラブ	120	上筋	D10-D13 (交互) @200	D10-D13 (交互) @200
			下筋	D10-D13 (交互) @200	D10-D13 (交互) @200

※コンクリート (Fc24-15-25) とする。
※施工が困難な場合は監督員と協議による。



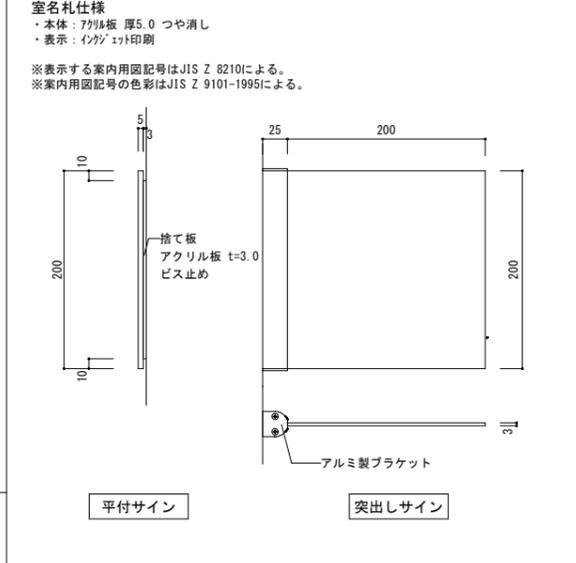
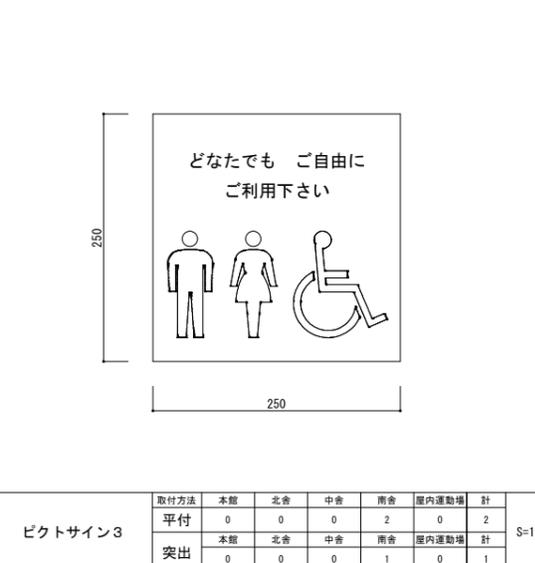
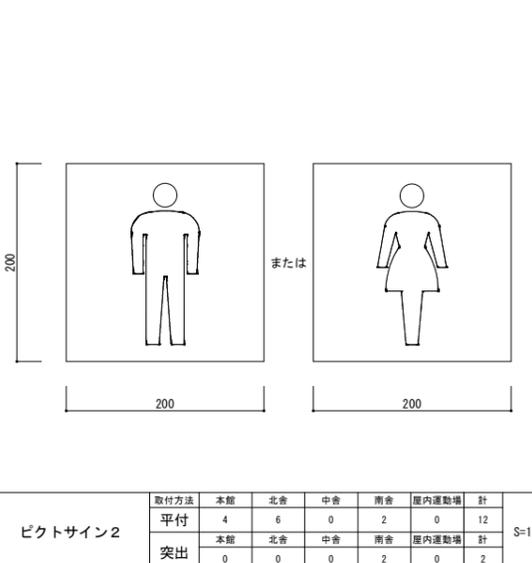
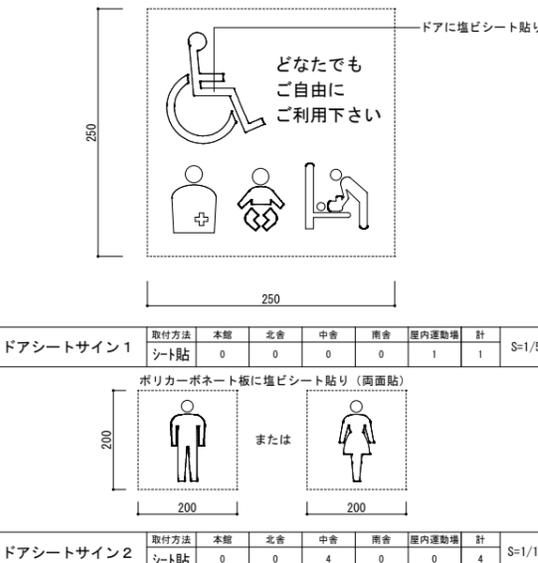
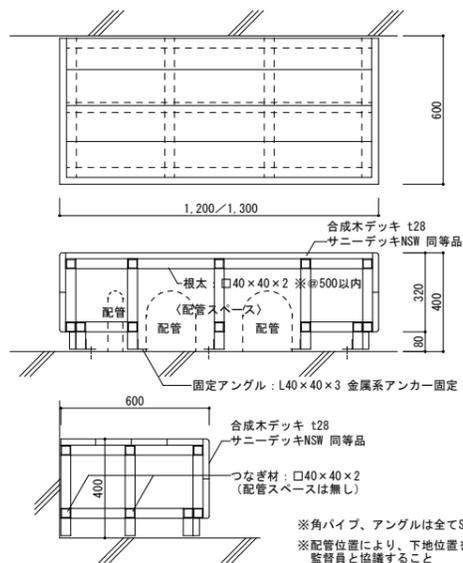
本館・北舎 土間コンクリート【新設】 1/20

ONタイル工法(既設モルタル下地タイル貼) 1/5

軽量鉄骨下地壁 詳細図 1/5

和便器撤去後 開口補修 1/20

木製開き戸 枠 1/10



ベンチ(配管カバー) 外部用トイレ前×2カ所 1/20

室名札姿図

仕様 1/5

電気設備工事仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 可児市立帷子小学校トイレ大規模改造工事
2. 工事場所 岐阜県 可児市 東帷子1047番地
3. 建物概要 学校

建物名称	構造	階数	延面積 (m ²)	消防法令別表第一	備考
15. 中舎	RC	3		7項 ()	改修
16. 配膳室棟	RC	1		7項 ()	改修
17. 南舎	RC	2		7項 ()	改修
18. 北舎	RC	3		7項 ()	改修
25. 屋内運動場	S	1		7項 ()	改修
30. 本館	RC	2		7項 ()	改修

4. 工事項目 (○印内に番号記入のもの及び○印のみ適用する)

工事項目	建物名称					
	中舎	配膳室棟	南舎	北舎	屋内運動場	本館
○ 高圧受変電設備						
○ 自家発電設備						
○ 幹線設備						
○ 動力設備						
① 電灯設備						
○ 照明設備	○		○	○	○	○
○ コンセント設備	○		○	○	○	○
・ 電気暖房設備						
○ 放送、電気時計設備						
・ 館内放送設備						
・ 電気時計設備						
○ 電話設備						
・ 電話用配線設備						
・ LAN用配線設備						
② 表示、警報設備						
○ トイレ呼出表示設備			○		○	
・ 警備保障会社用配管設備						
・ I T V設備						
○ インターホン設備						
○ テレビ共聴設備						
③ 防災設備						
○ 自動火災報知設備						○
・ 自動閉鎖装置設備						
・ ガス漏れ警報設備						
・ 誘導灯設備						
・ 非常用照明設備						
・ 非常警報設備						
・ 漏電火災警報設備						
○ 避雷針設備						
○ 構内配電線路 (強電)						
○ 構内配電線路 (弱電)						
○ 太陽光発電設備						

5. 別途工事
・ 建築工事 ・ 機械設備工事

II. 工事仕様

1. 共通仕様 (○印のみ適用する)
特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。
- 工事請負契約書
 - 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 最新版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
 - 公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) 最新版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
 - 公共建築改修工事標準仕様書 最新版 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
 - ・ 公共住宅建設工事共通仕様書 最新版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)
 - 可児市建築工事共通仕様書 最新版 (可児市)
 - 内線規程 最新版 (電気技術基準調査委員会編集)
 - 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各メーカー標準と読み替える。

2. 特記仕様 (項目は番号に○印記入のもの、選択式の特記事項は印のみ適用する)

項目	特記事項
① 適用範囲 (1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書 (質疑応答書を含む) に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (最新版) による。設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。 1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書 (添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書 8) 可児市建築工事共通仕様書
② 適用範囲 (2)	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。 受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。公共建築工事標準仕様書 第1編 第1章 1-1-4 工事実績情報の登録により、工事受注代金額500万円以上の工事について「CORINS」を作成、登録することとする。 手続きの流れは別紙のとおりとする。
③ 法規等の事項	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
④ 工事実績情報の作成・登録	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑤ 提出書類	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑥ 完成時の提出書類	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑦ 工事書類の簡素化	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑧ 事故報告	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑨ 質 疑	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑩ 設計変更	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑪ 軽微な変更等	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑫ 実施状況の提出について	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑬ 立会検査	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑭ 使用材料	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑮ 材料試験	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑯ 既存との取合い	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑰ 撤去工事	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑱ 再利用機器	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
⑲ 発生材の処理	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。

⑳ 産業廃棄物の適正処理

受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあつては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並びに確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。 廃棄物マニフェストE票を一覧に提出する。
処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県産業廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。
混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。
工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出とする。
○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑 ○石膏ボード ○鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ガラス・陶磁器屑
建設工事リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。
下記の資材については再生資材を使用する。

資材名	規格	使用場所
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針 (日本道路協会)	構内アスファルト
再生クラッシュラン		アスファルト舗装下

- 25 残土処分
26 はつり

㉑ 耐震施工

場外処分とする。
はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督員に報告を行うこと。 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。
事前に鉄筋探査を行い開口予定部分が鉄筋に掛かる場合は監督員と協議すること。また、貫通部の補強については、穴の径が配筋ピッチ未満かつ100mm以下の場合には不要とする。
設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

- 1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kg f] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は、次による。

設置場所	機器種別	一定の施設		一般の施設	
		重量増倍	一級増倍	重量増倍	一級増倍
上層階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	本館棟 (※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	本館棟 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	防振支持の機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	本館棟 (※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】 (※1)：本階階には、オルタナク等を含む。

重要機器
・配電盤 ・発電装置 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置
上層階の設置は2階以上とする。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。

- 2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
配線器具は、下記を標準とする。
○大角形連用型 ○ワイドハンドル型
プレートは、下記を標準とする。
・ 樹脂製 (洋風モダン) ○ 新金属製
・ 電力会社外線工事負担金 ・ 電話機器納入、取付
・ 光ケーブル (CATV) 引込工事
・ 警備保障配線工事及び機器納入、取付

㉒ 配線器具

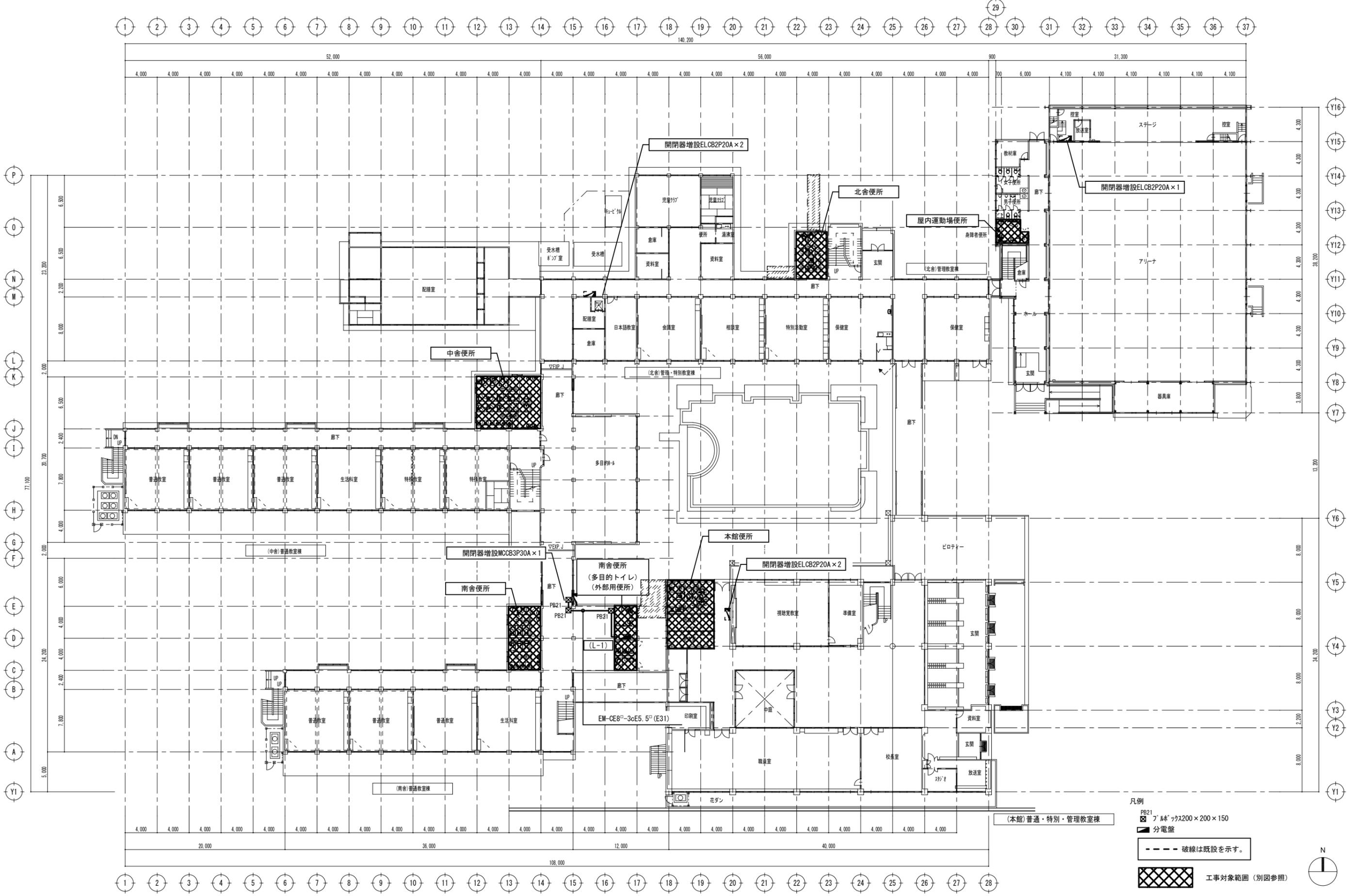
㉓ フラッシュプレート

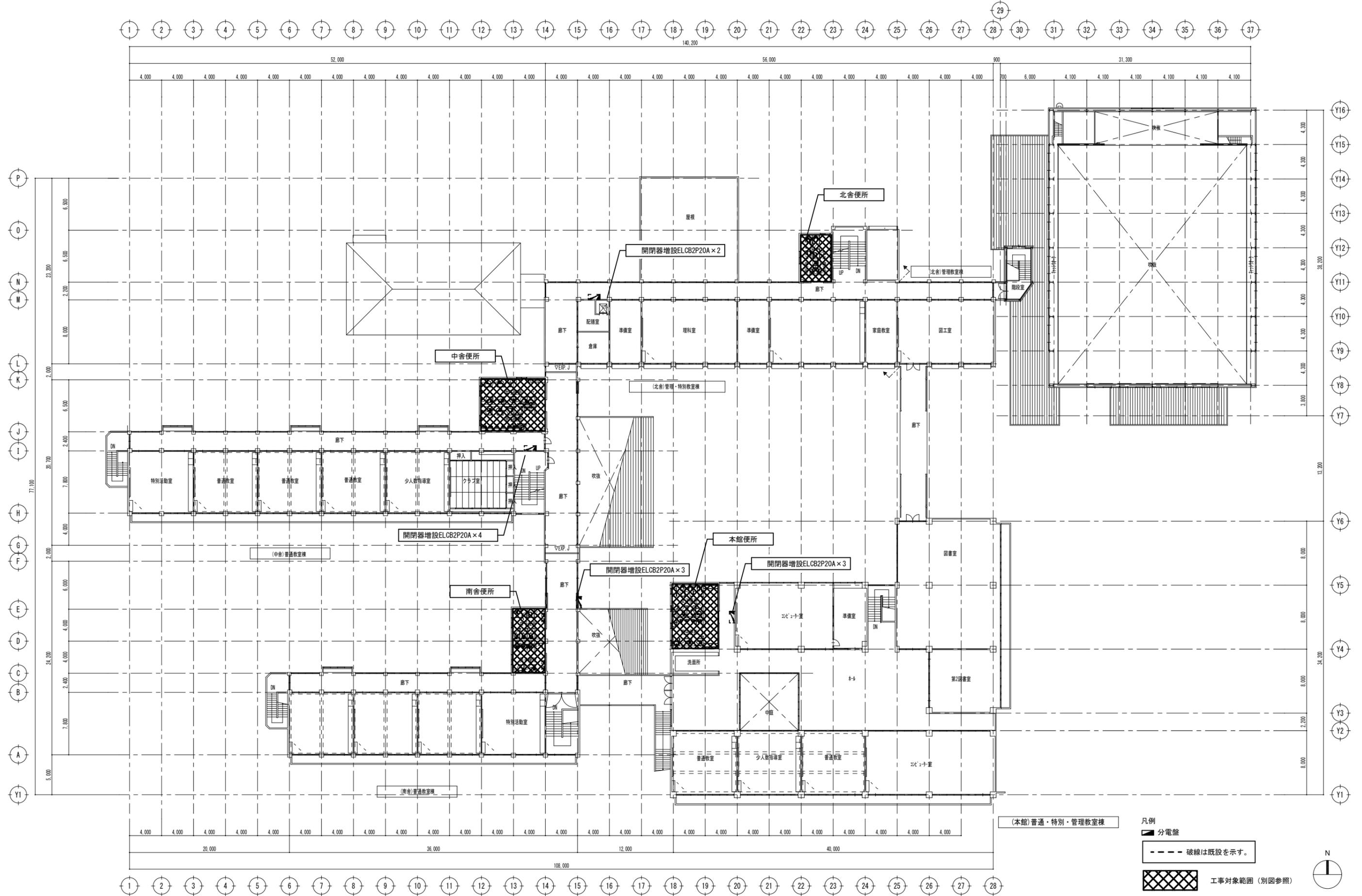
30 別途工事

㉔ 工事方法

- 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。
- 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。
- 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合は屋内:E-25、屋外:G-22とする)
- 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線 (1.2m/m²ビニル被覆鉄線) を挿入する。
- 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色OP2塗り)
- 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。
- 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。
- F P板 (スタイロフォーム等) 打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ)
- ジョイントボックス等、配線器具を実装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。
- 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート (樹脂製、エッチング文字) を設ける。

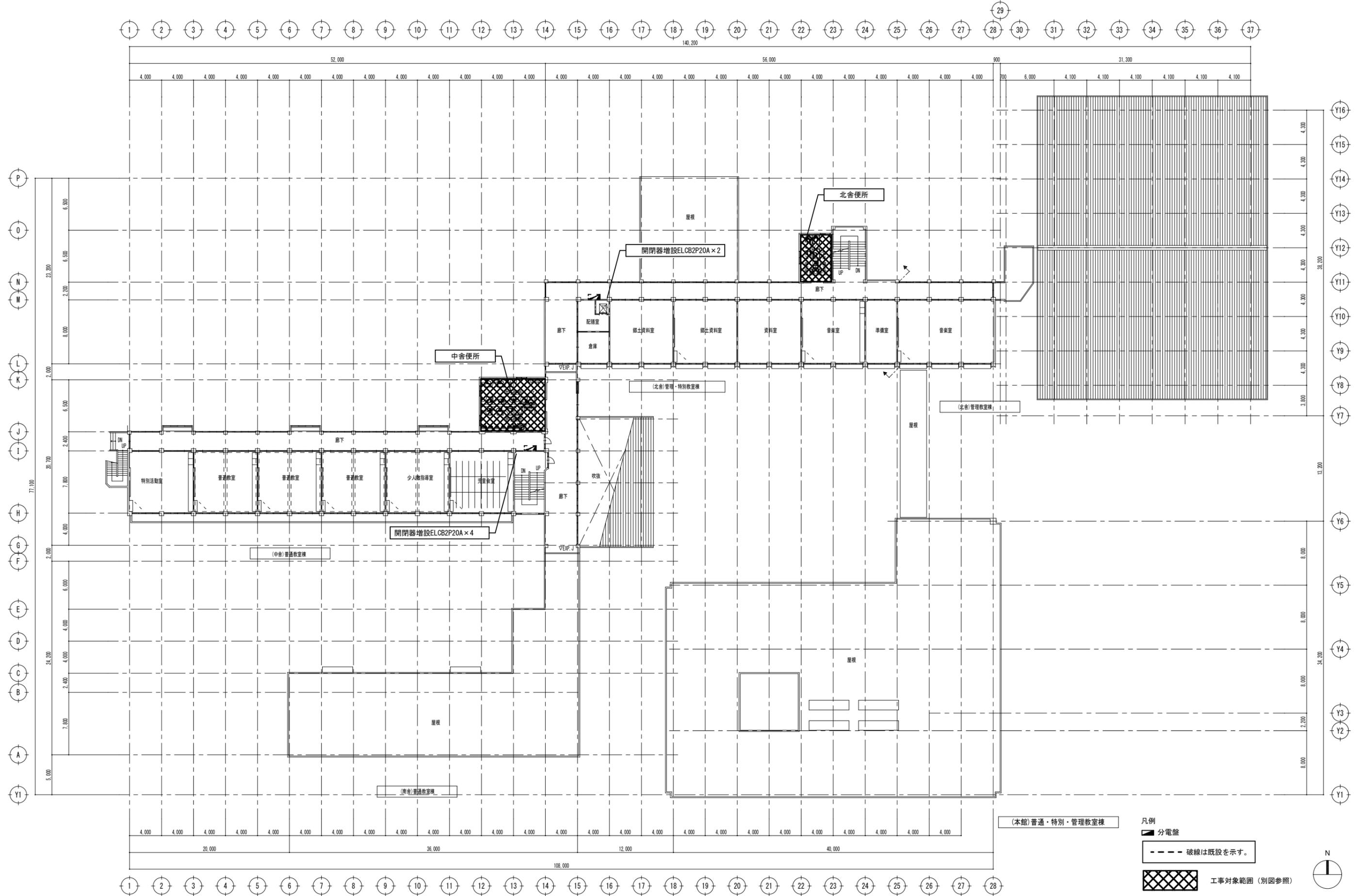
- 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。
(イ) 建築基準法 告示 第3183号に準拠
(ロ) (財) 日本建築センター (BCJ) 防災評定品の使用
(イ) 吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編)」によりものとする。
改修工事に於いて吊りボルト用あと施工アンカーは本工事とする。
- (ロ) その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。
(ハ) 特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。
建築竣工引渡後、原則として5年以内 (特に指定のある工種を除く) において、工事不良の発生したと認められる損害等については、受注者の費用負担にて速達丁寧に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。
建築竣工引渡後1年が経過した時点において監督員立合のものでも1年検査を行い、工事不良の発生したと認められる損害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。
- 事前調査 (○ 本工事 ・ 別途)
○ 調査項目 (○ 既存資料調査 ○ 既設配線ルート)
○ 調査範囲 (・ 図示 ○ 工事範囲)
○ 調査方法 (○ 図示 ○ 目視)
- ③ 工事保証
- ④ 経年検査
- ⑤ 施工調査
- ⑥ 工事着手前協議
- ⑦ ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について
- ⑧ 改修工事注記事項
- 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存図面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。
- 撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況を把握した上で施工するものとする。
- 図記明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取付等に伴う既設電気設備機器の取外し再取付、配線の再接続等は本工事とする。
- 図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。
- 不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。
- 図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。
- 上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。
- 既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に供い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。
- 既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。 建築工事において天井撤去、壁撤去に供い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。
- 上記に於いて廃止となる配線は端末処理の上、「未使用」表記を行うものとする。
- 上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事に於いて全て撤去とする。
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事とする。
既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。
- 別途機器への接続は、本工事とする。
- 姿図の寸法、形状は参考とする。
- ④ 1 その他





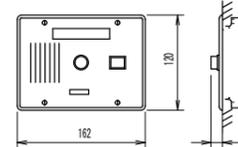
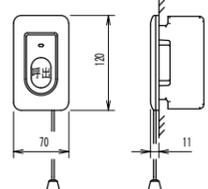
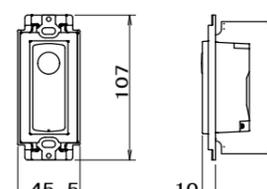
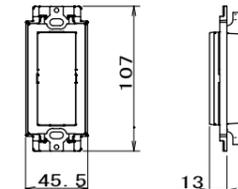
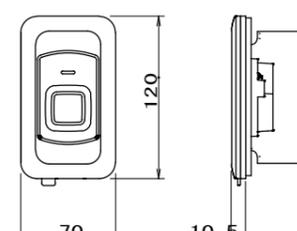
- 凡例
- 分電盤
 - 破線は既設を示す。
 - ▨ 工事対象範囲 (別図参照)

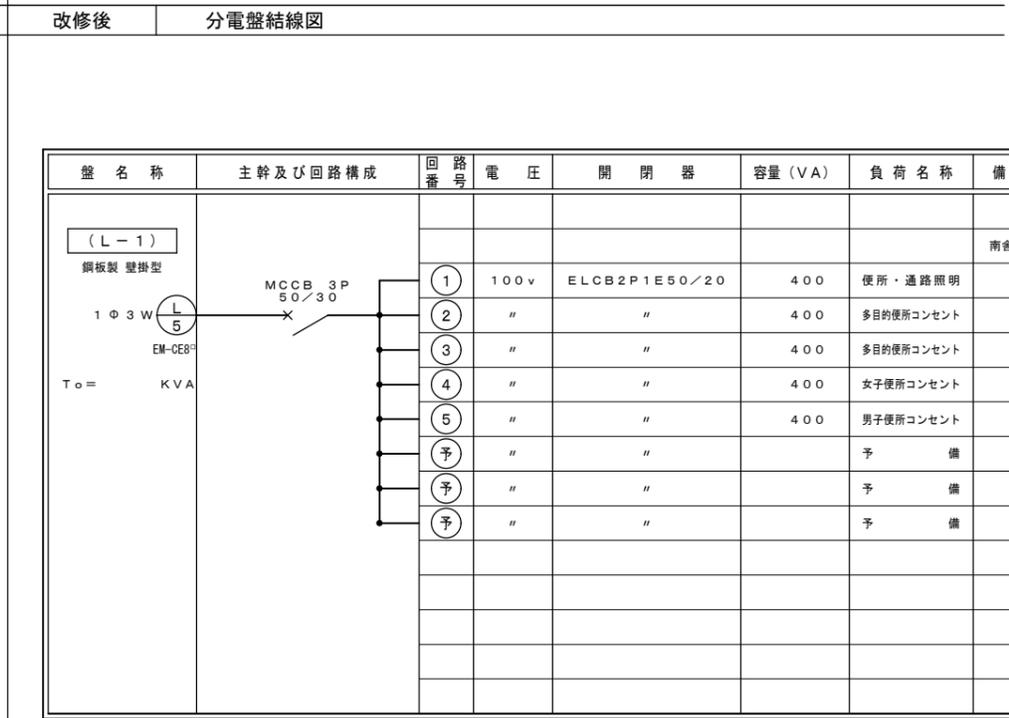


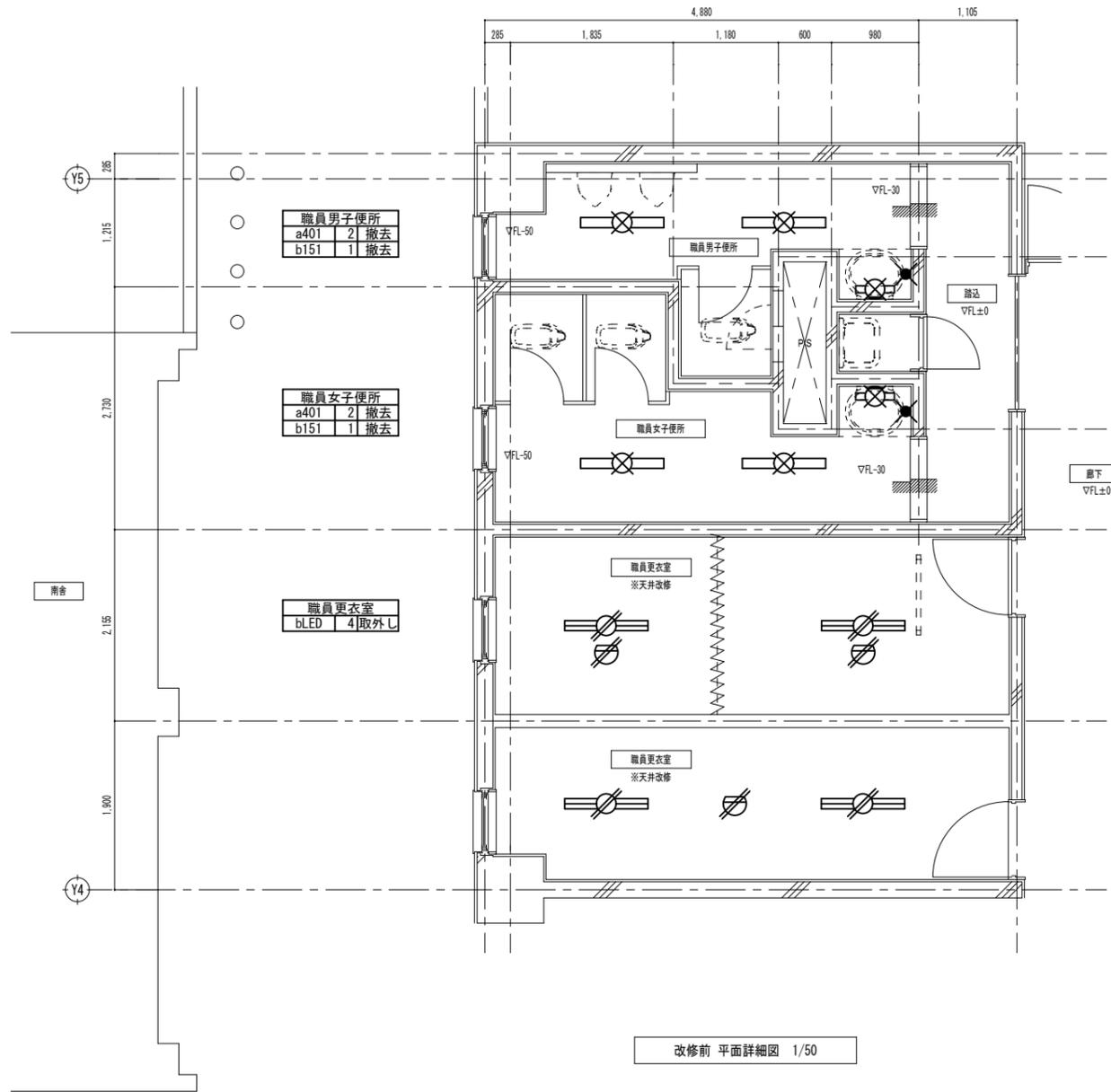


改修後		新設・再取付 照明器具一覧表					
A	LEDベースライト 電圧：AC100～242V 消費電力：20.6W 寸法：幅150×長1,250×高50 相関色温度：5,000K 器具光束：3,200 lm  参考型番：XLX430AENPLE9	C	LEDベースライト 電圧：AC100～242V 消費電力：21.8W 寸法：幅150×長632×高50 相関色温度：5,000K 器具光束：3,200 lm  参考型番：XLX230AENCLE9				
D	LEDベースライト 電圧：AC100～242V 消費電力：20.6W 寸法：幅126×長1254 埋込高65 相関色温度：5,000K 器具光束：2,940 lm  参考型番：XLX430MENTLE9	E	LEDダウンライト 電圧：AC100～242V 消費電力：7W 埋込穴径：φ100 相関色温度：5,000K 器具光束：1,020 lm  参考型番：XND1039SNLE9				
F	LEDダウンライト 電圧：AC100～242V 消費電力：11.6W 埋込穴径：φ100 相関色温度：5,000K 器具光束：1,675 lm  参考型番：XND1559SNLE9	G	LEDベースライト防雨型 電圧：AC100～242V 消費電力：16.3W 寸法：幅150×長1,250×高86 相関色温度：5,000K 器具光束：2,500 lm  参考型番：XLW423AENZLE9				
aLED	LEDダウンライト	bLED	LEDベースライト 直付型	cLED	LEDダウンライト	dLED	LEDダウンライト
既設取外し品再取付		既設取外し品再取付		既設取外し品再取付		既設取外し品再取付	

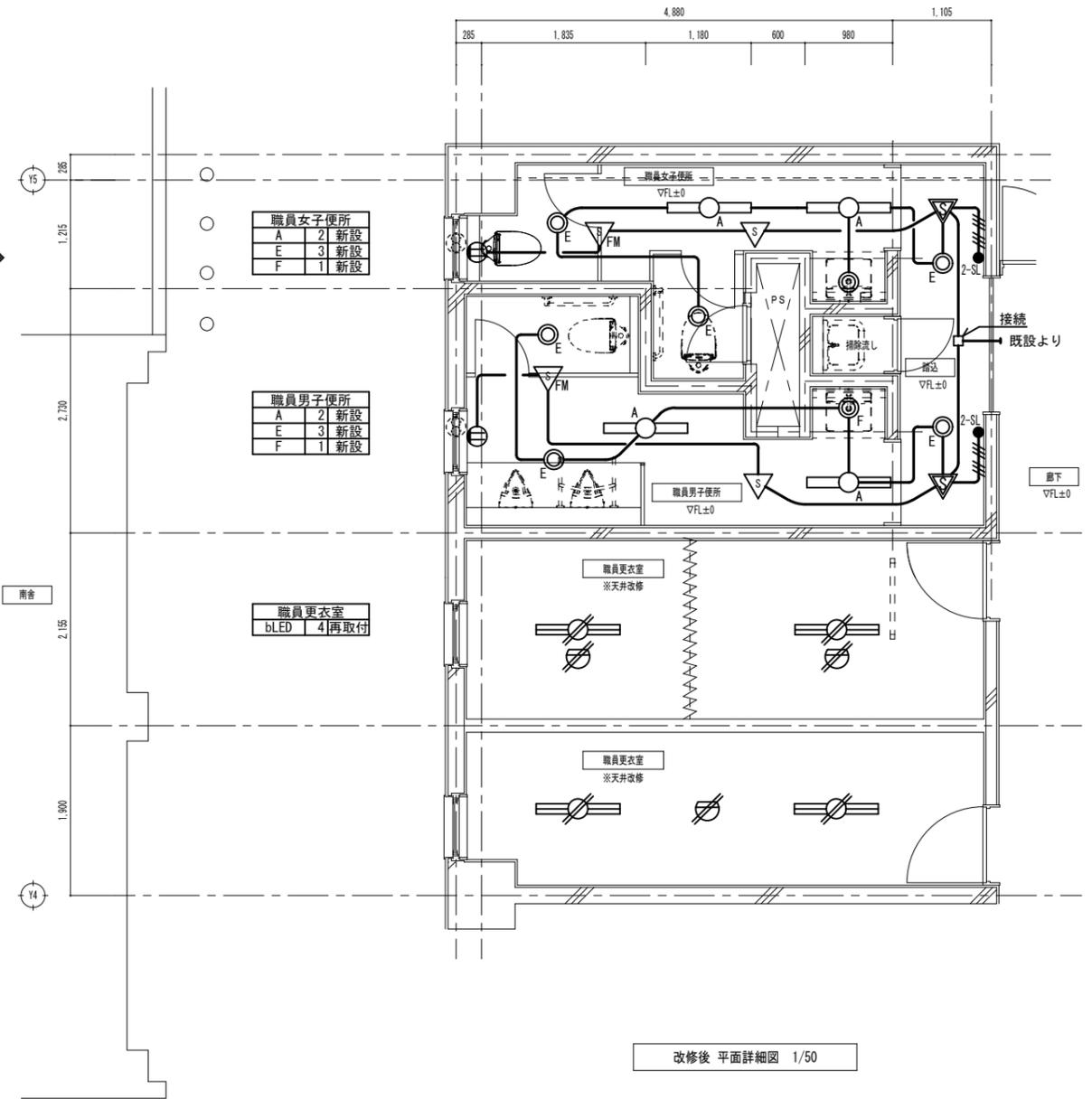
改修前		撤去・取外し 照明器具一覧表				
記号	名称	形状	撤去	取外し(取付)	現状のまま	備考
a401	FL40W×1	直付型 逆富士型	○			中舎2 FWC
"	"	"	○			南舎2 FWC
"	"	"	○			本館1、2 FWC
b151	FL15W×1	直付型	○			本館1 FWC
c60	IL60W	ダウンライト	○			本館2 FWC
d201	FL20W×1	直付型 逆富士型	○			北舎1～3 FWC
aLED	LED灯	ダウンライト 埋込穴：100		○		屋内運動場(身障者便所)
bLED	LED灯	FL40×2 直付型		○		本館職員更衣室
cLED	LED灯	ダウンライト		○		中舎1 FWC
dLED	LED灯	ダウンライト		○		中舎1 FWC

改修後		弱電機器姿図	
CN1	埋込形表示器 CN-1A34/A  電源電圧 DC12V (電源アダプタから供給) 形状 埋込形 (JIS3個用スイッチボックス) 材質 ステンレス 窓数 1窓 表示方式 断続プザー音と表示窓点灯	呼出ボタン(引きひも付) NBR-7HWA  形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押ボタン式両用	復旧ボタン NLR-2  形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 自己消火性樹脂
代表表示灯 NLR-4F  形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂、ランプカバー：アクリル 備考 LED方式 (色・赤色・緑色)、屋内専用	トイレ呼出ボタン NLR-72  形状 壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 防塵・防まつ形 (JIS C 0920 IP54相当)		





改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

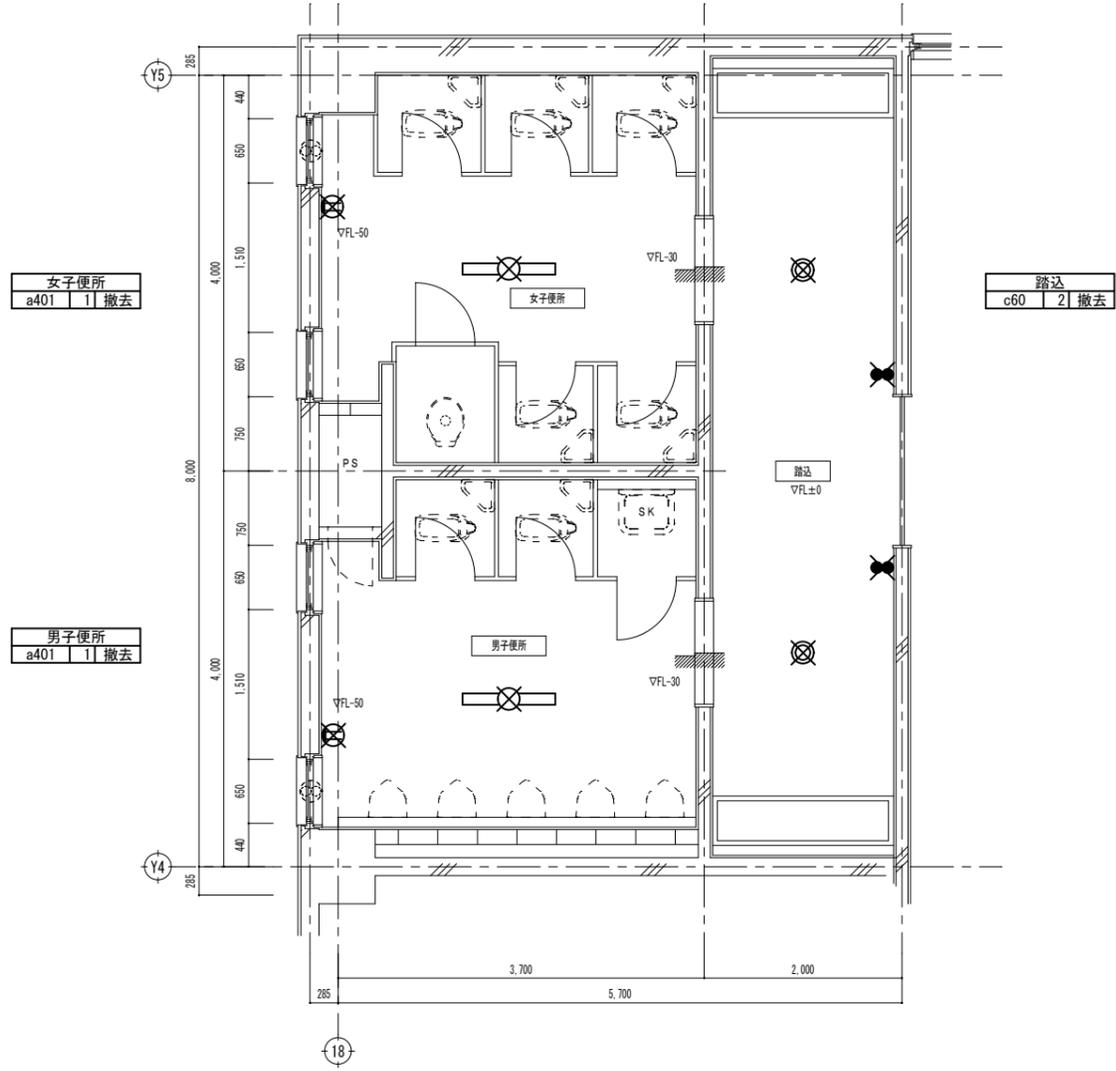
・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

×印は撤去器具を示す。
 左記印は既設再利用器具を示す。

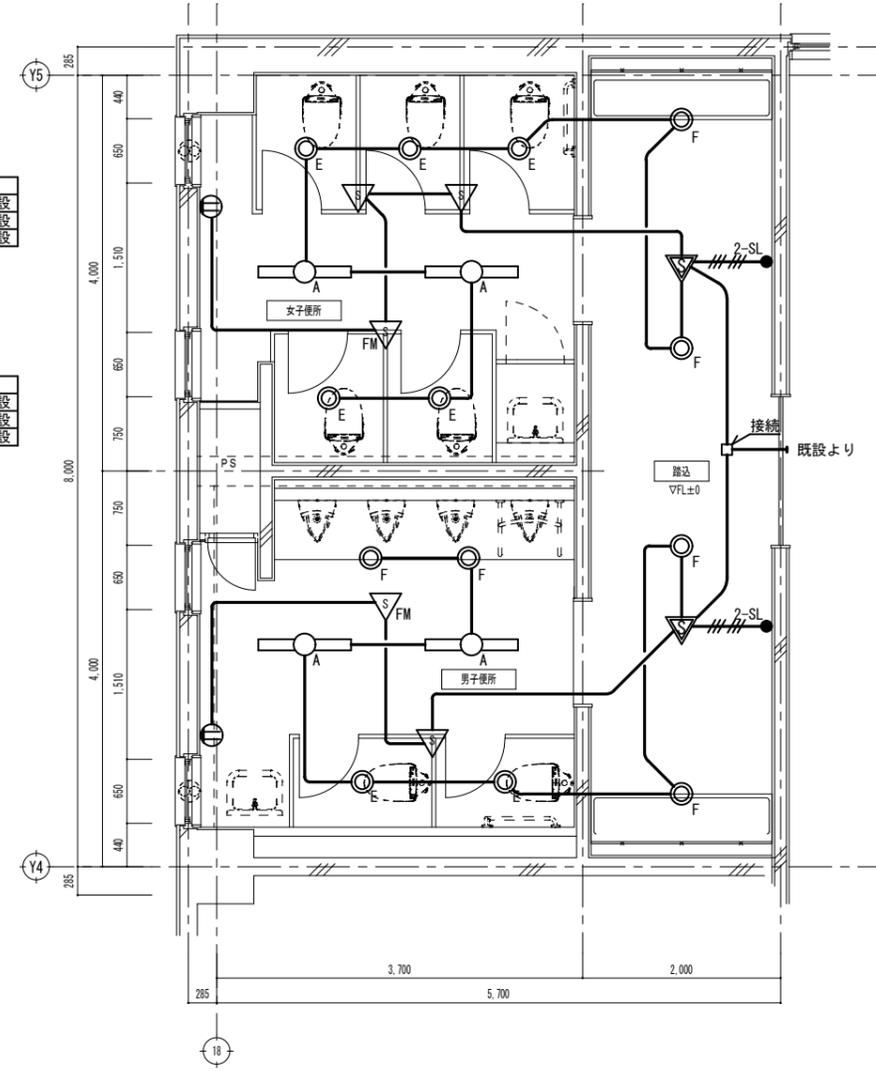
左記印は既設再利用器具を示す。

記号	凡例
	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
	切替スイッチ 2回路用 (参考: WTK5822W)
注記: センサー位置は発注者と協議の上施工すること。	

特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF1.6-2c (PF16)
 EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

女子便所		
A	2	新設
E	5	新設
F	2	新設

男子便所		
A	2	新設
E	2	新設
F	4	新設

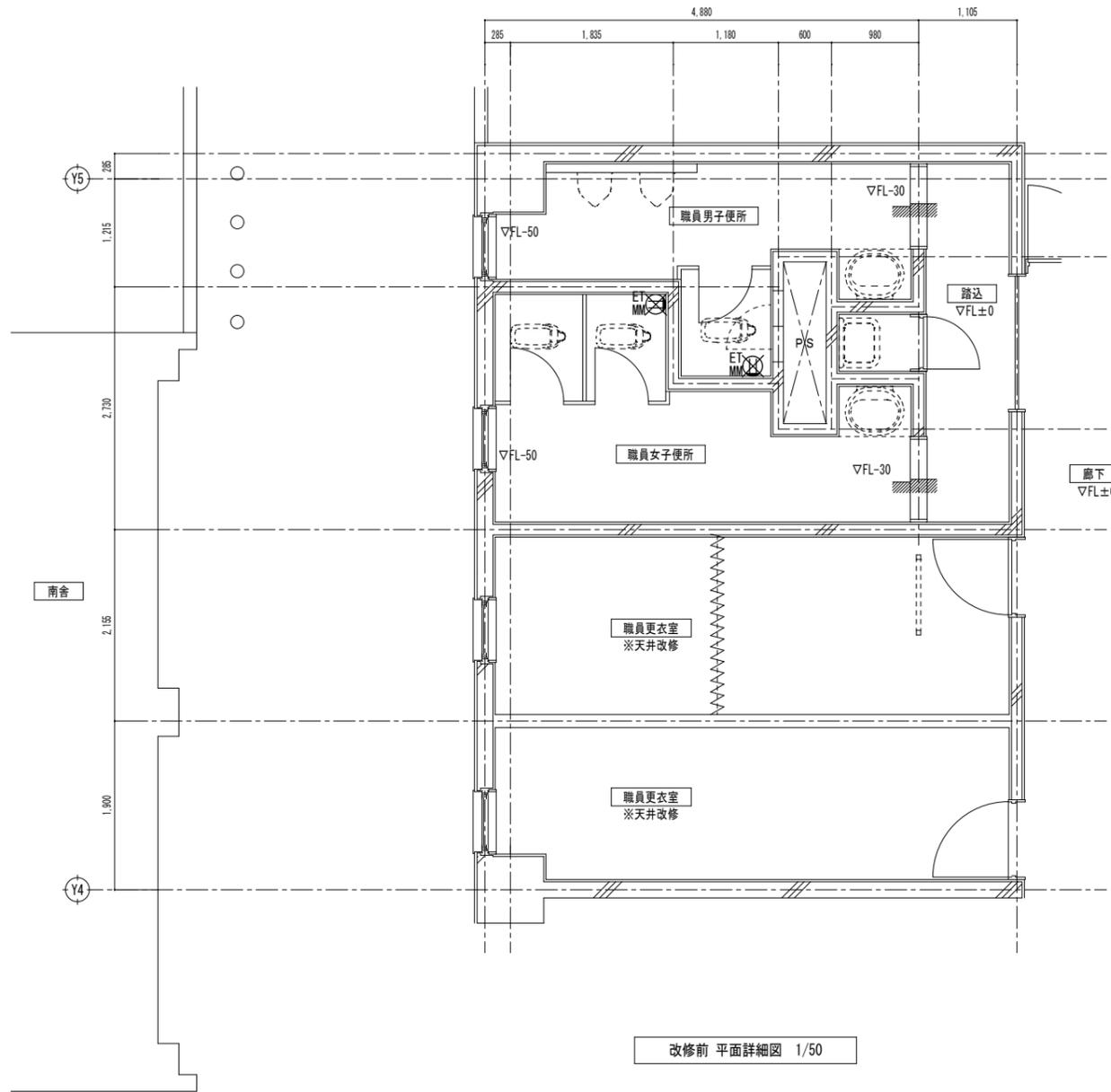
・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

×印は撤去器具を示す。

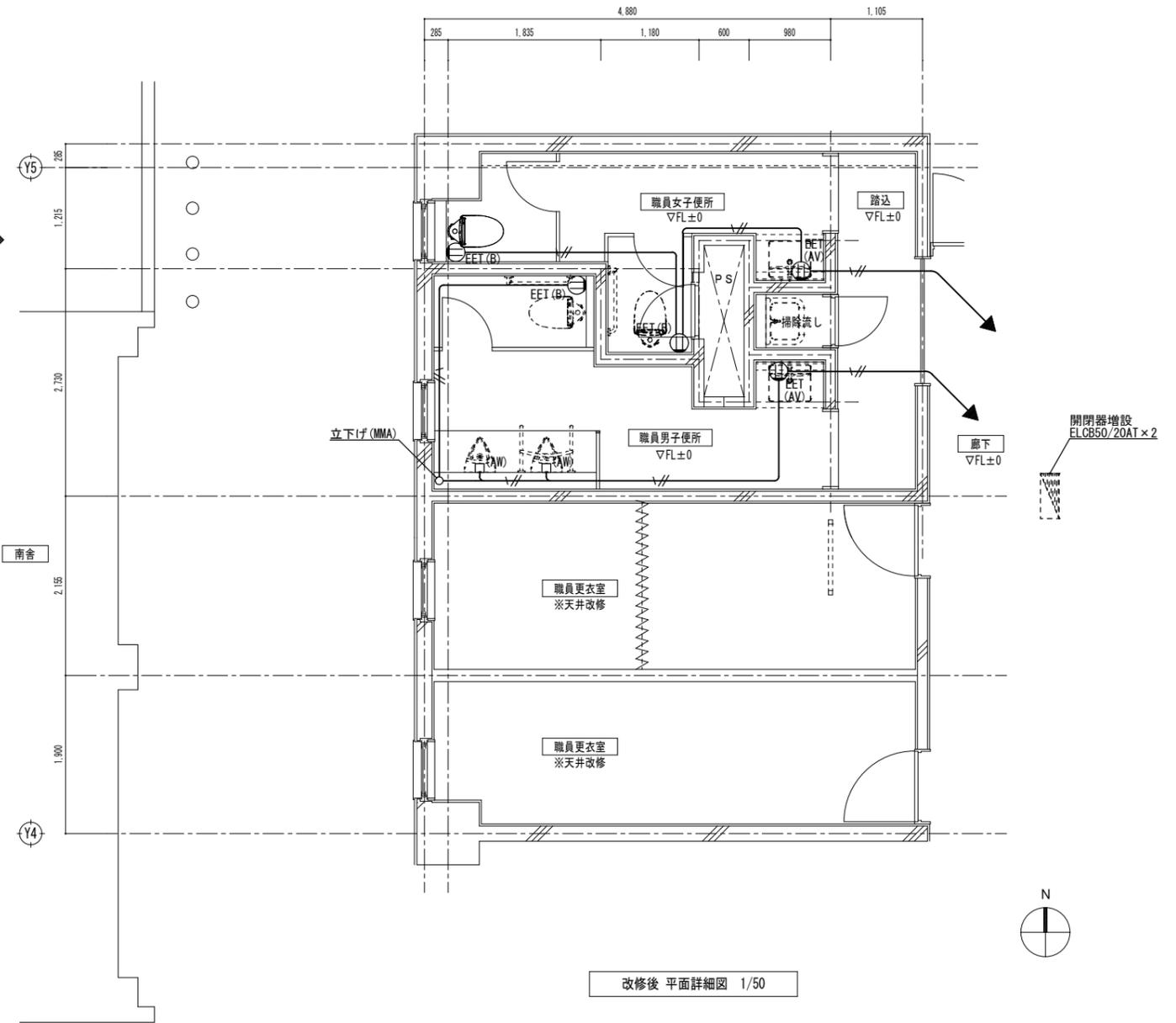
記号	凡例
▽	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
FM▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
●2-SL	切換スイッチ 2回路用 (参考: WTC5822W)

注記: センサー位置は発注者と協議の上施工すること。

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



改修前 平面詳細図 1/50



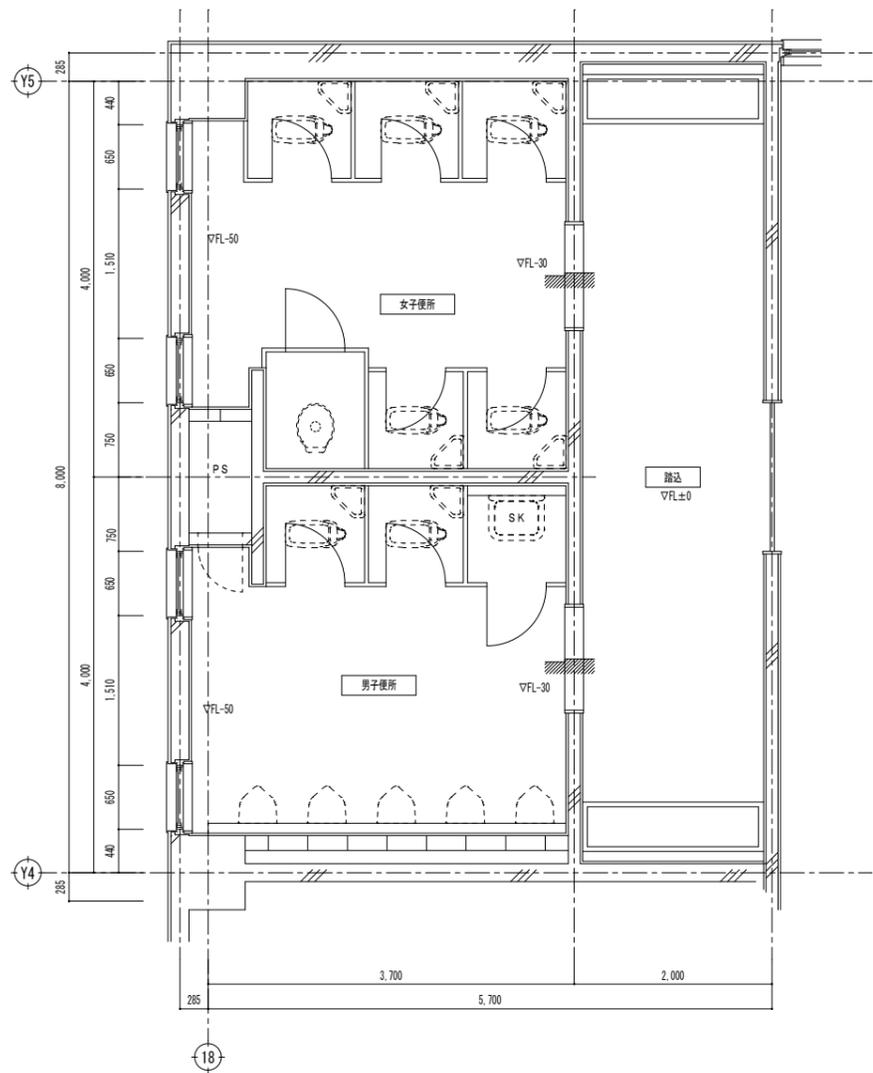
改修後 平面詳細図 1/50

・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

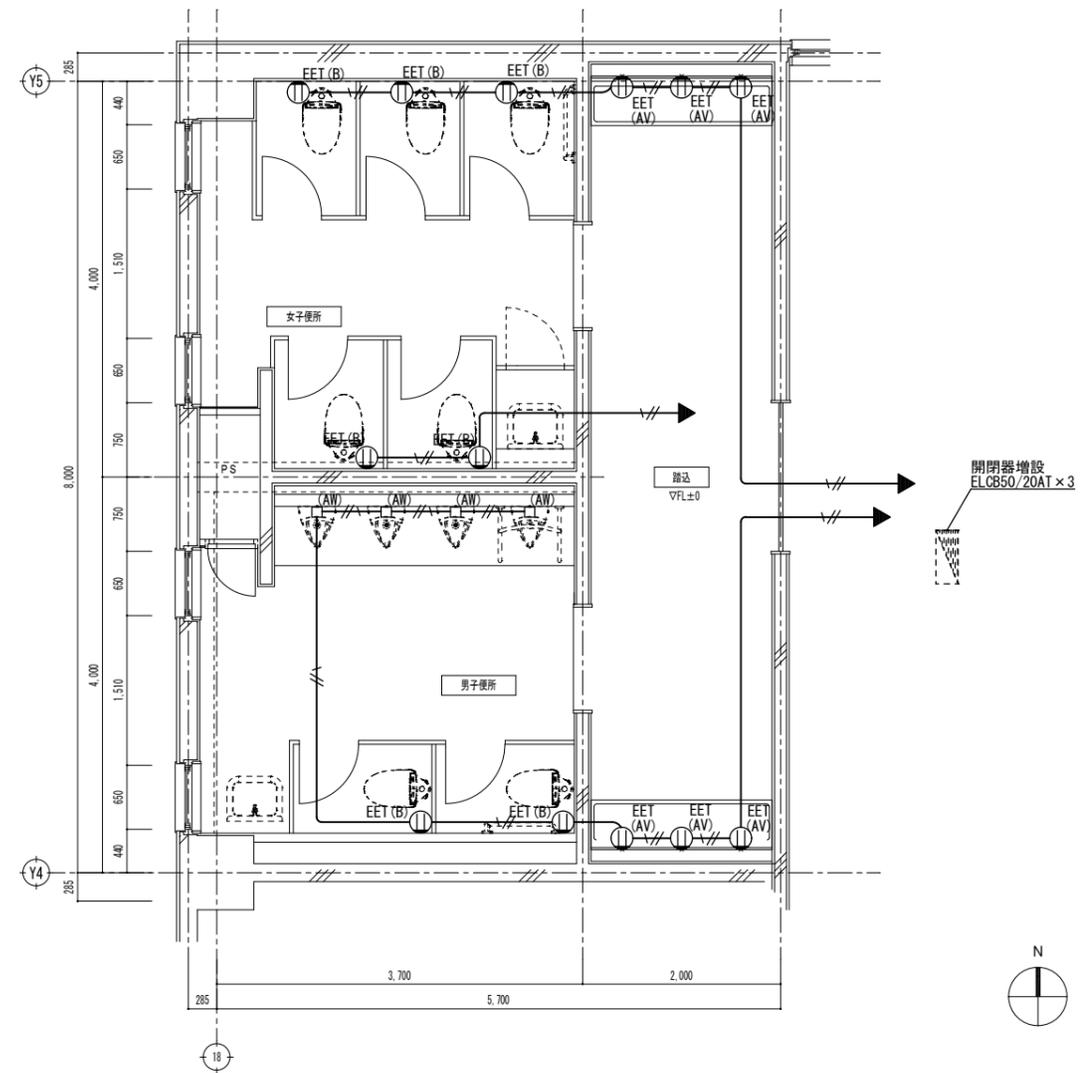
×印は撤去器具を示す。

記号	凡 例	用 途
EET(B) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET(AV) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用
(AW) □		小便器自動洗浄器

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF2.0-3c (PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 露出部分は樹脂による保護とする。



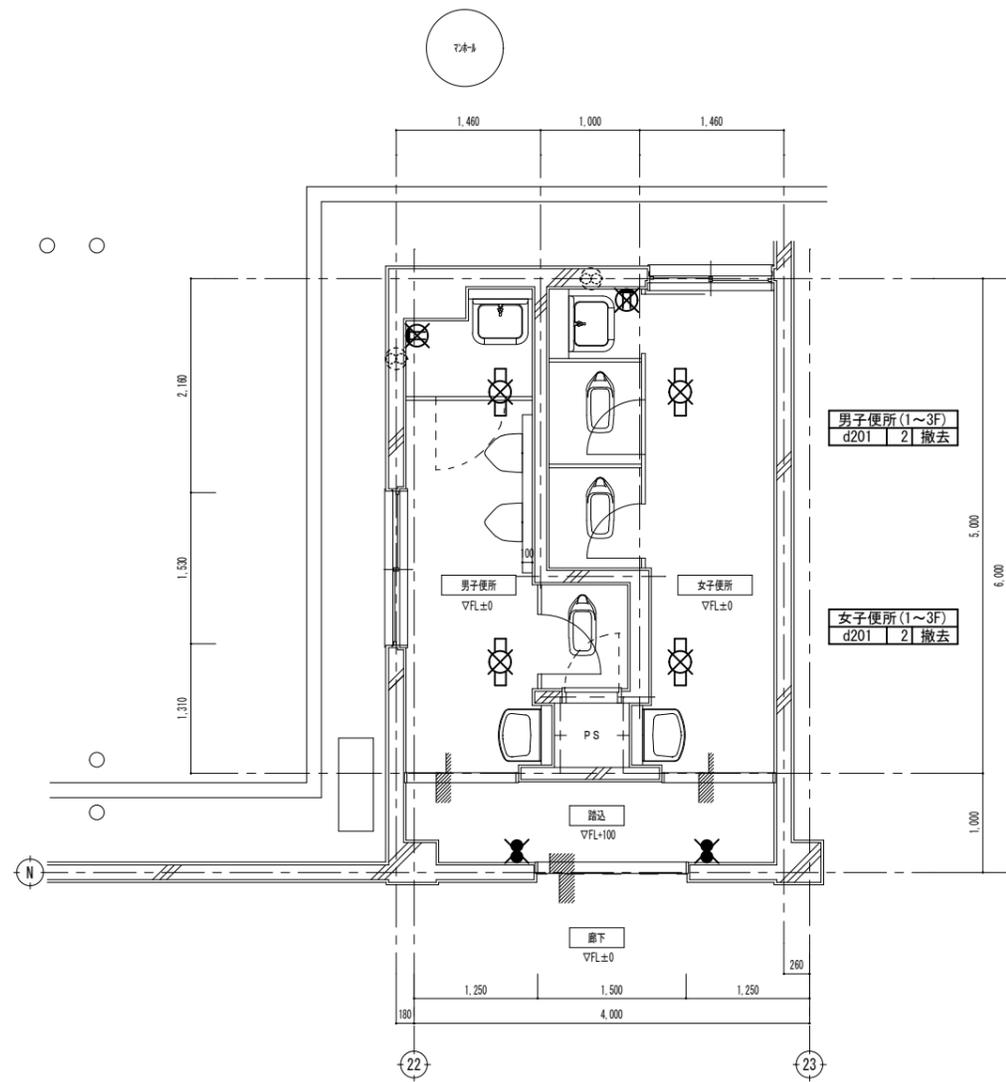
改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

記号	凡例	用途
EET (B) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET (AV) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用
(AW) (□)		小便器自動洗浄器

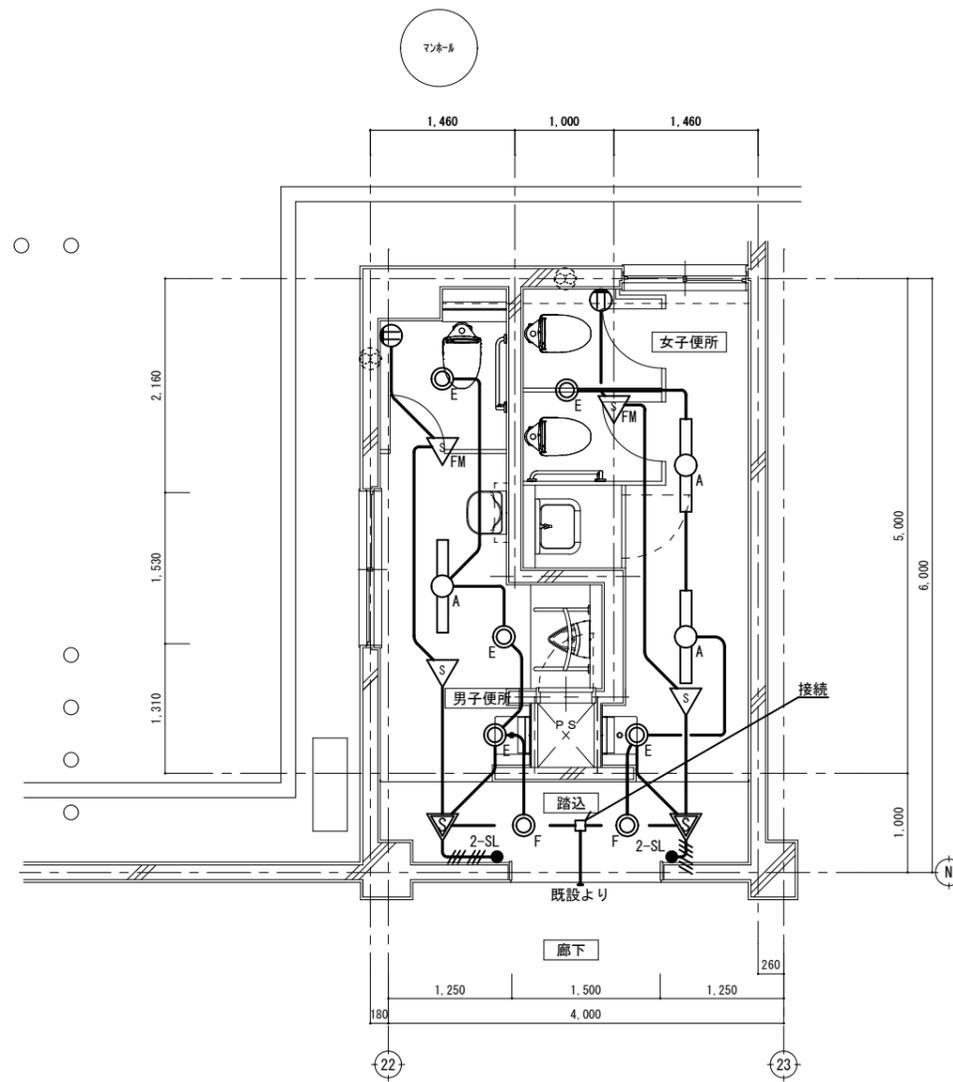
特記なき配管・配線は下記とする。
 ——— EM-EEF2.0-3c (PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 露出部分は約10mmによる保護とする。



改修前 平面詳細図 1/50

・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

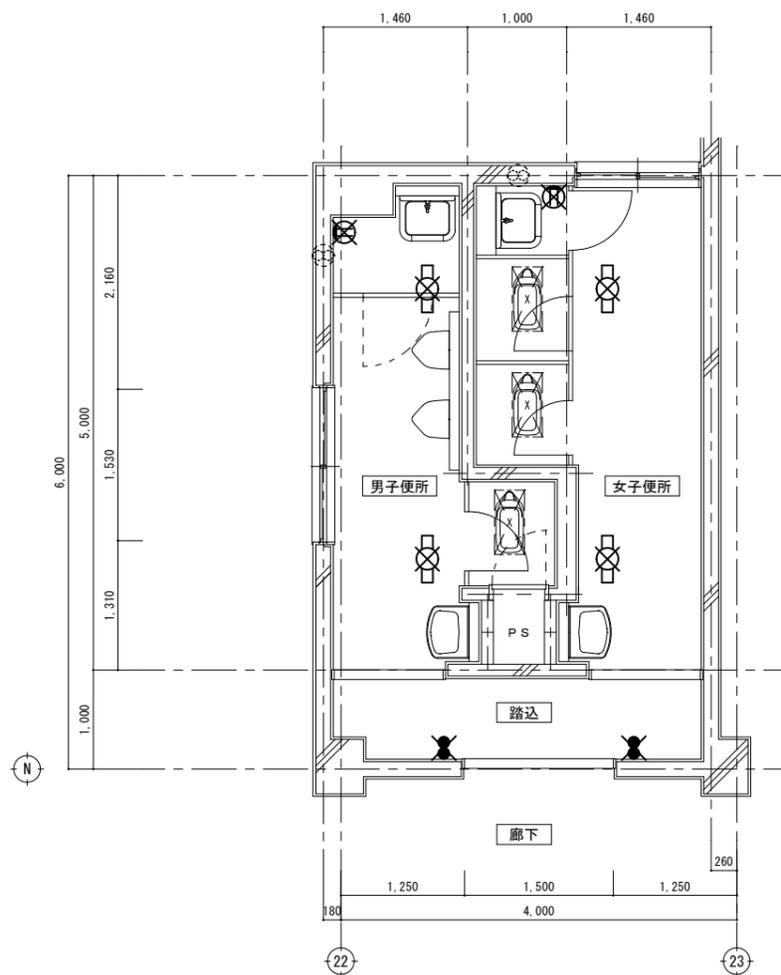
×印は撤去器具を示す。



改修後 平面詳細図 1/50

記号	凡 例
	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
	●2-SL 切替スイッチ 2回路用 (参考: WTC5822W)
注記: センサ位置は発注者と協議の上施工すること。	

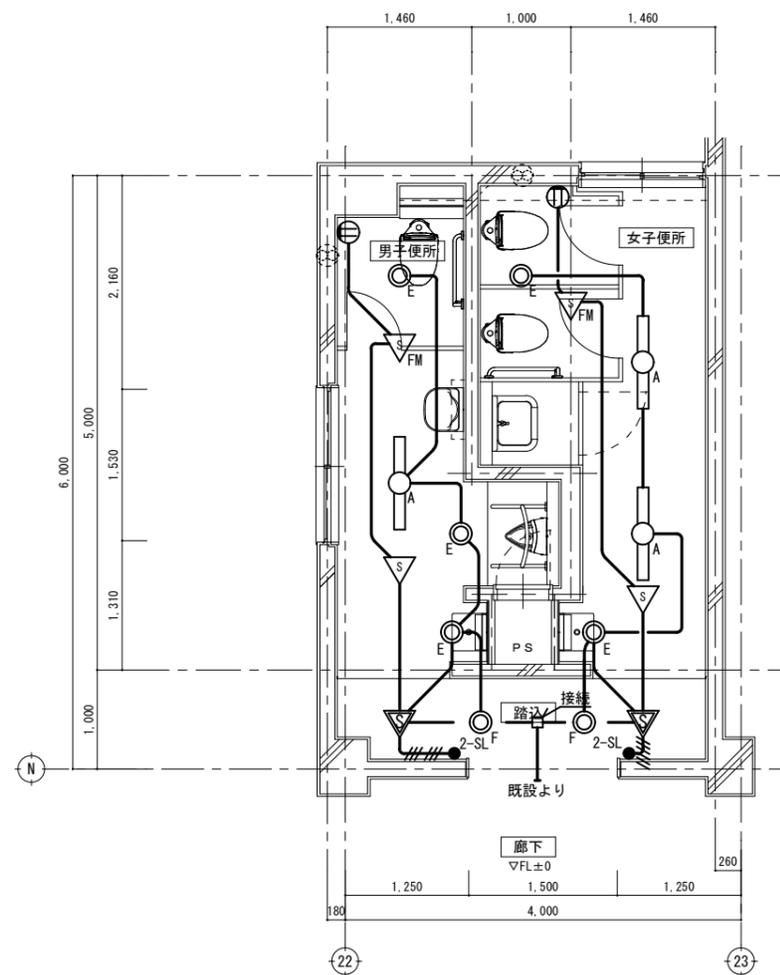
特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



改修前 平面詳細図 1/50

男子便所 (1~3F)
d201 2 撤去

女子便所 (1~3F)
d201 2 撤去



改修後 平面詳細図 1/50

男子便所 (2・3F)
A 1 新設
E 3 新設
F 1 新設

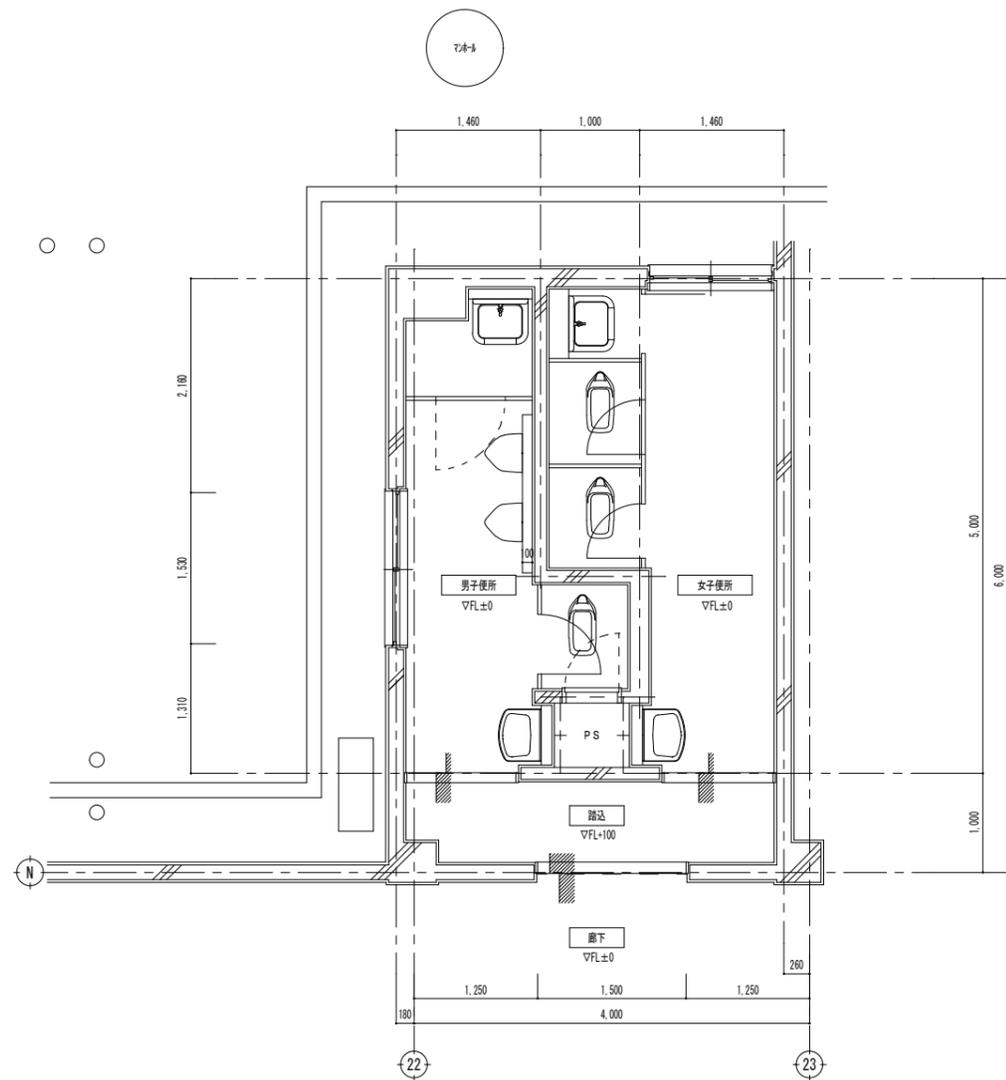
女子便所 (2・3F)
A 2 新設
E 2 新設
F 1 新設

・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

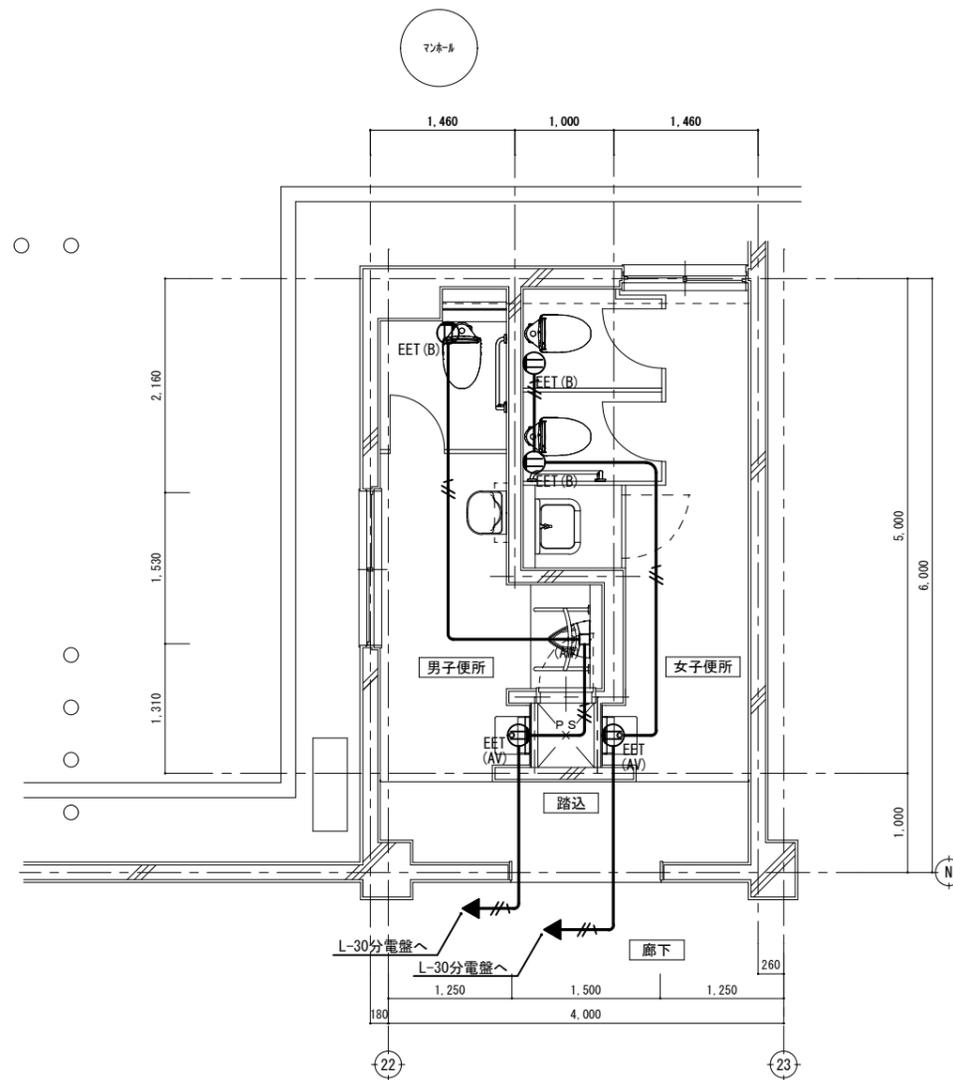
×印は撤去器具を示す。

記号	凡 例
	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
	2-SL 切替スイッチ 2回路用 (参考: WTK5822W)
注記: センサー位置は発注者と協議の上施工すること。	

特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF1.6-2c (PF16)
 EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



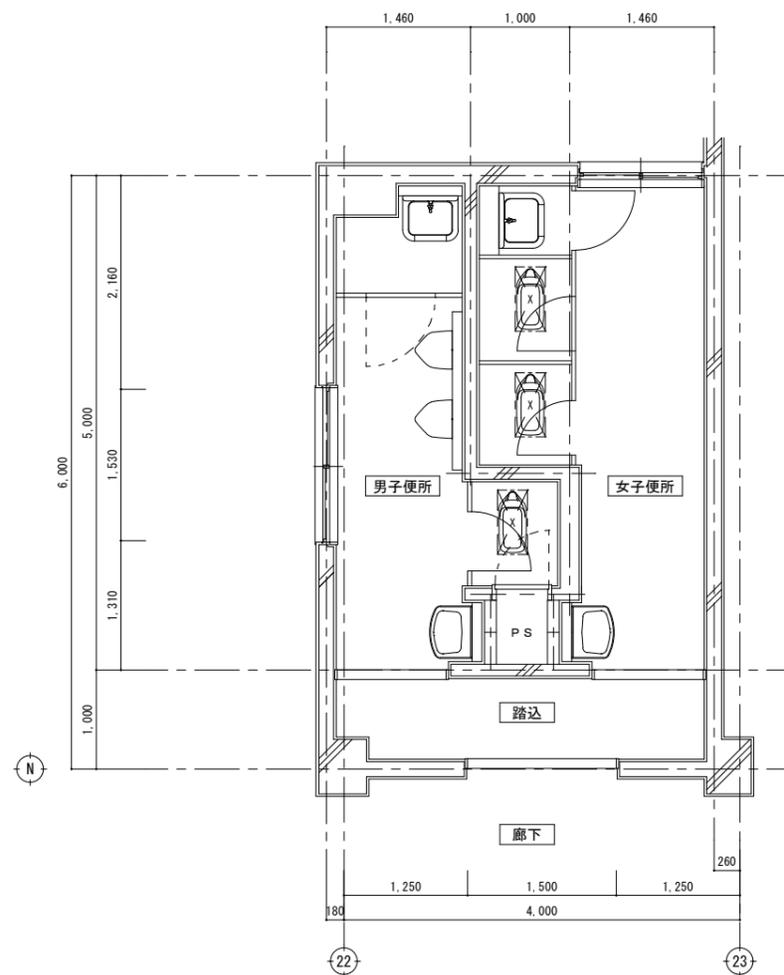
改修前 平面詳細図 1/50



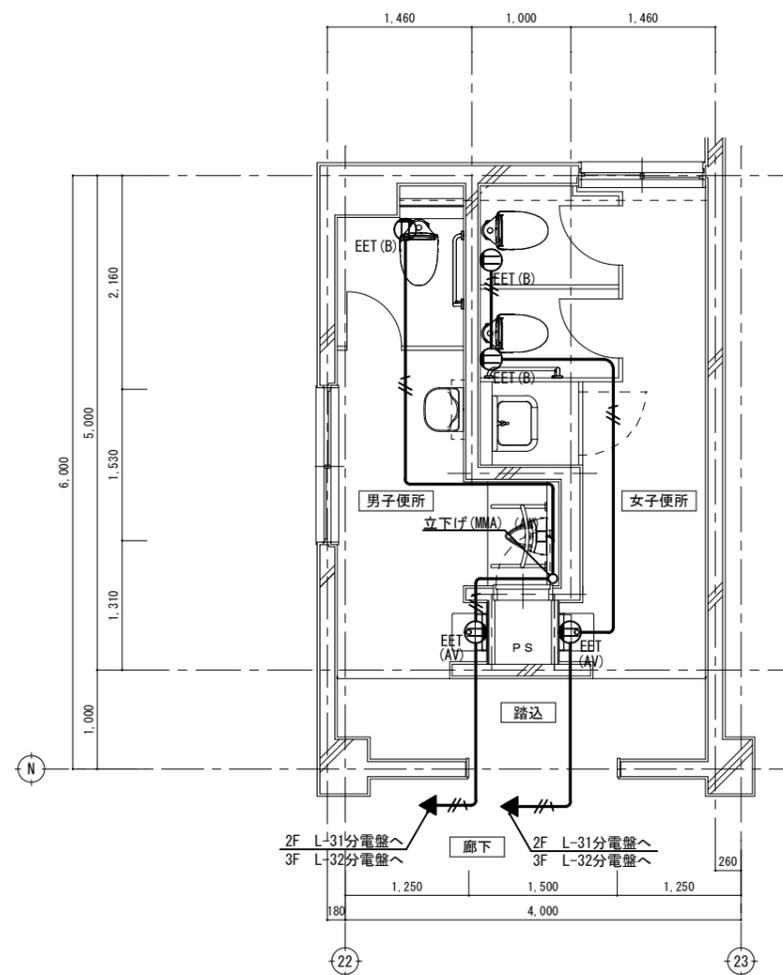
改修後 平面詳細図 1/50

記号	凡例	用途
EET(B) ①	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET(AV) ①	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用
(AW) □		小便器自動洗浄器

特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF2.0-3c(PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 露出部分はMFMによる保護とする。



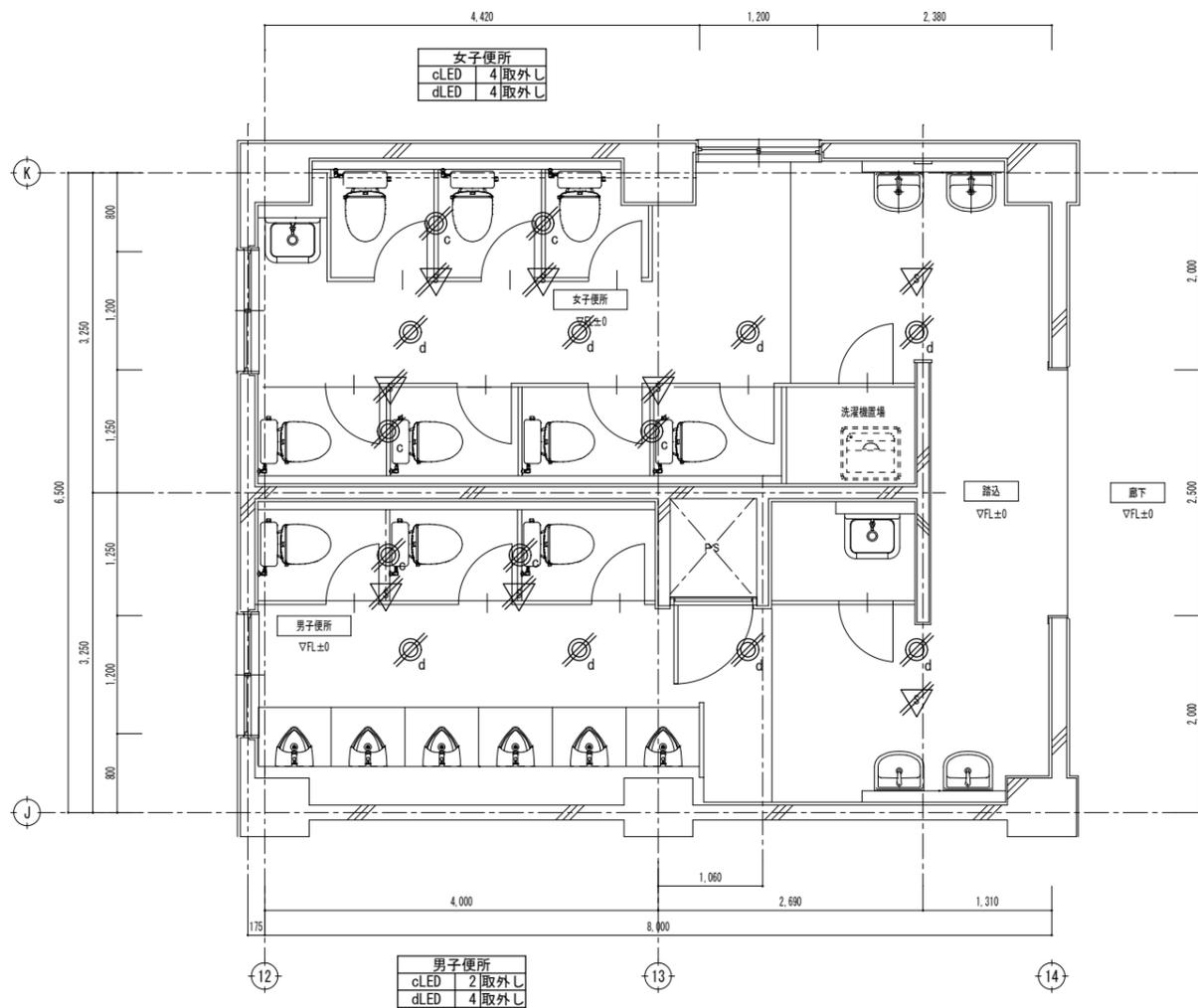
改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

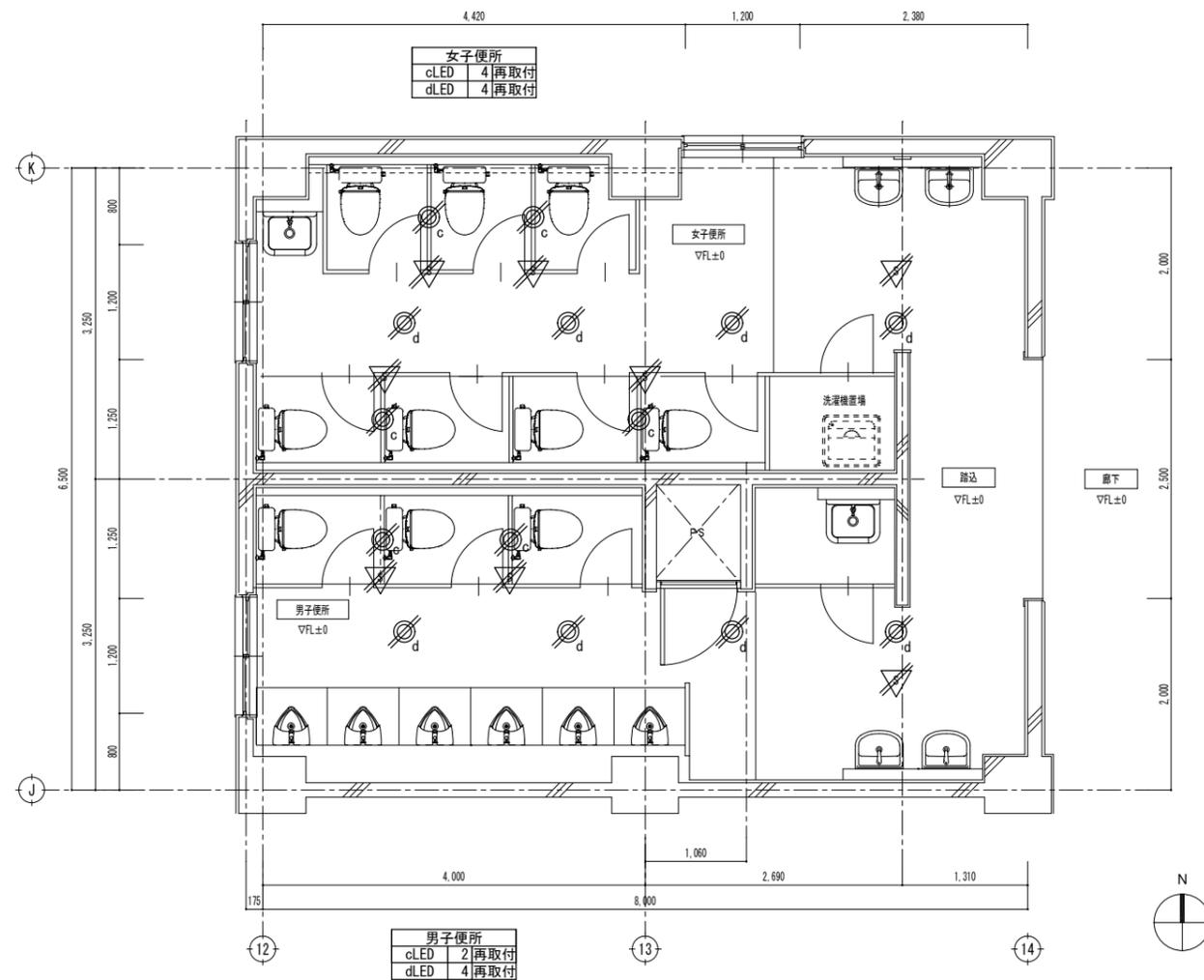
記号	凡 例	用 途
EET (B) ①	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET (AV) ①	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用
(AW) □		小便器自動洗浄器

特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF2.0-3c (PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 露出部分は樹脂による保護とする。



改修前 平面詳細図 1/50

※天井改修のみ



改修後 平面詳細図 1/50

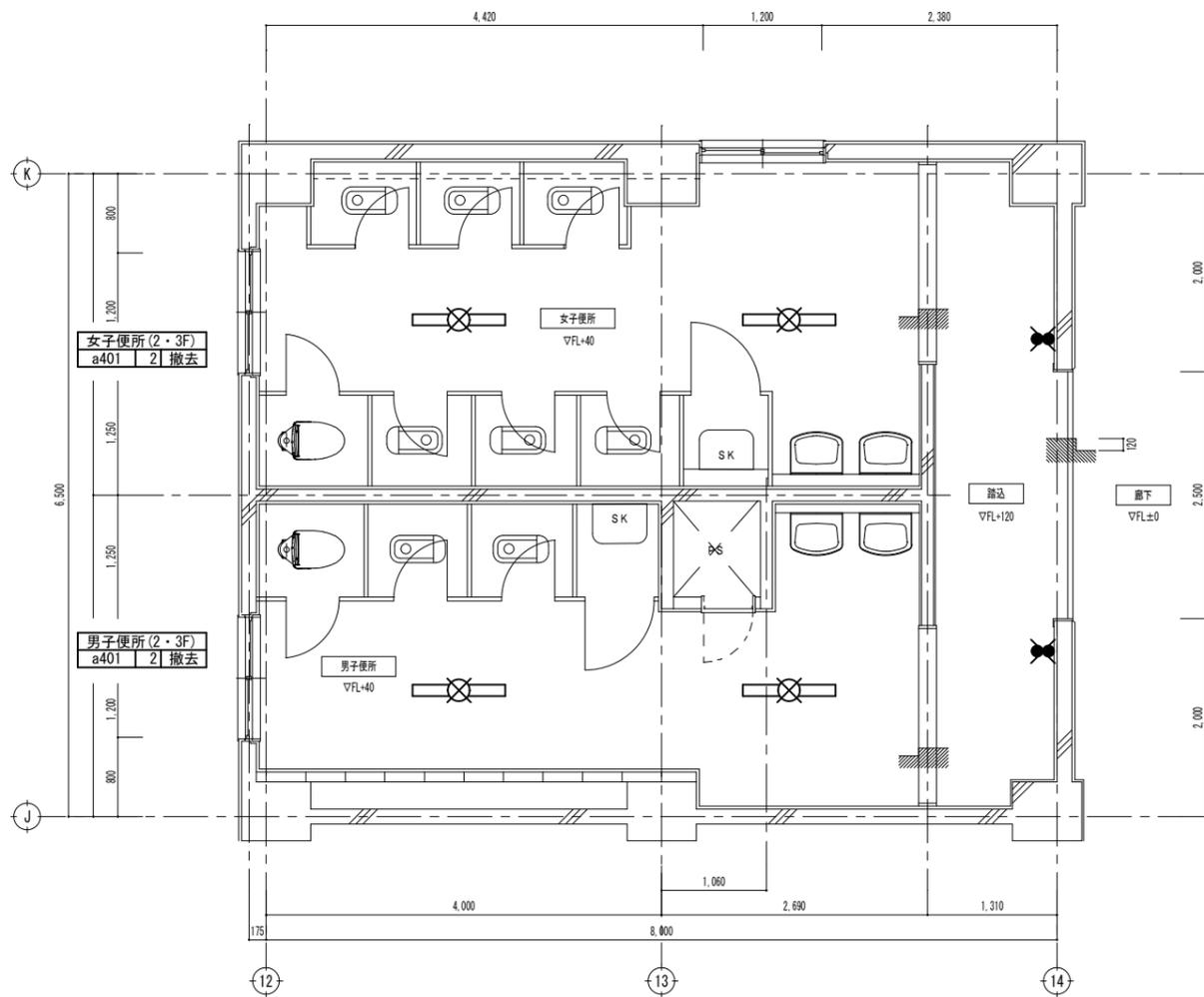
※天井改修のみ

----- 破線は既設のままを示す。
 // 左記印は既設再利用器具を示す。

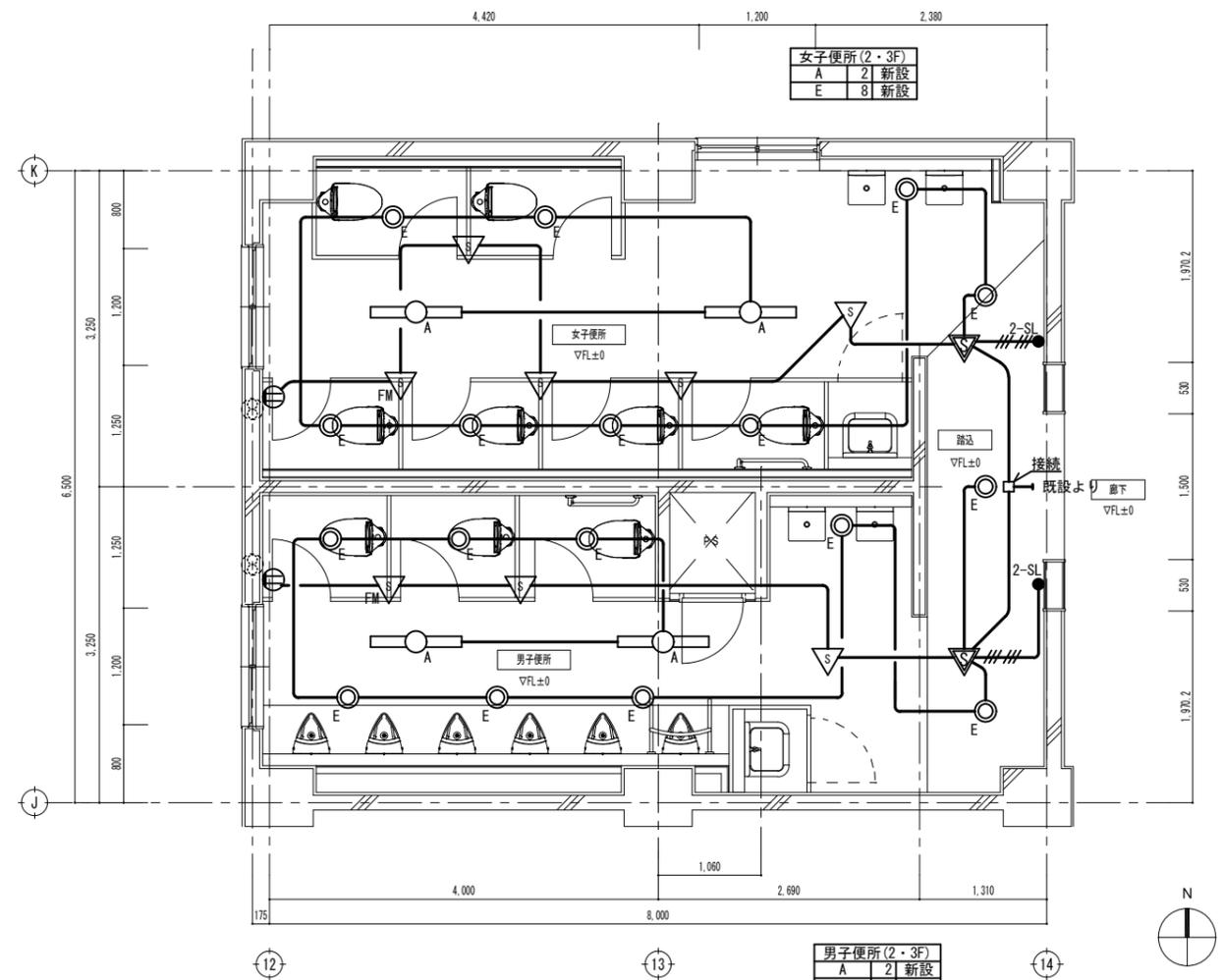
----- 破線は既設のままを示す。
 // 左記印は既設再利用器具を示す。

記号	凡 例
▽	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
FM▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
●2-SL	切換スイッチ 2回路用 (参考: WTC5822W)

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



改修前 平面詳細図 1/50



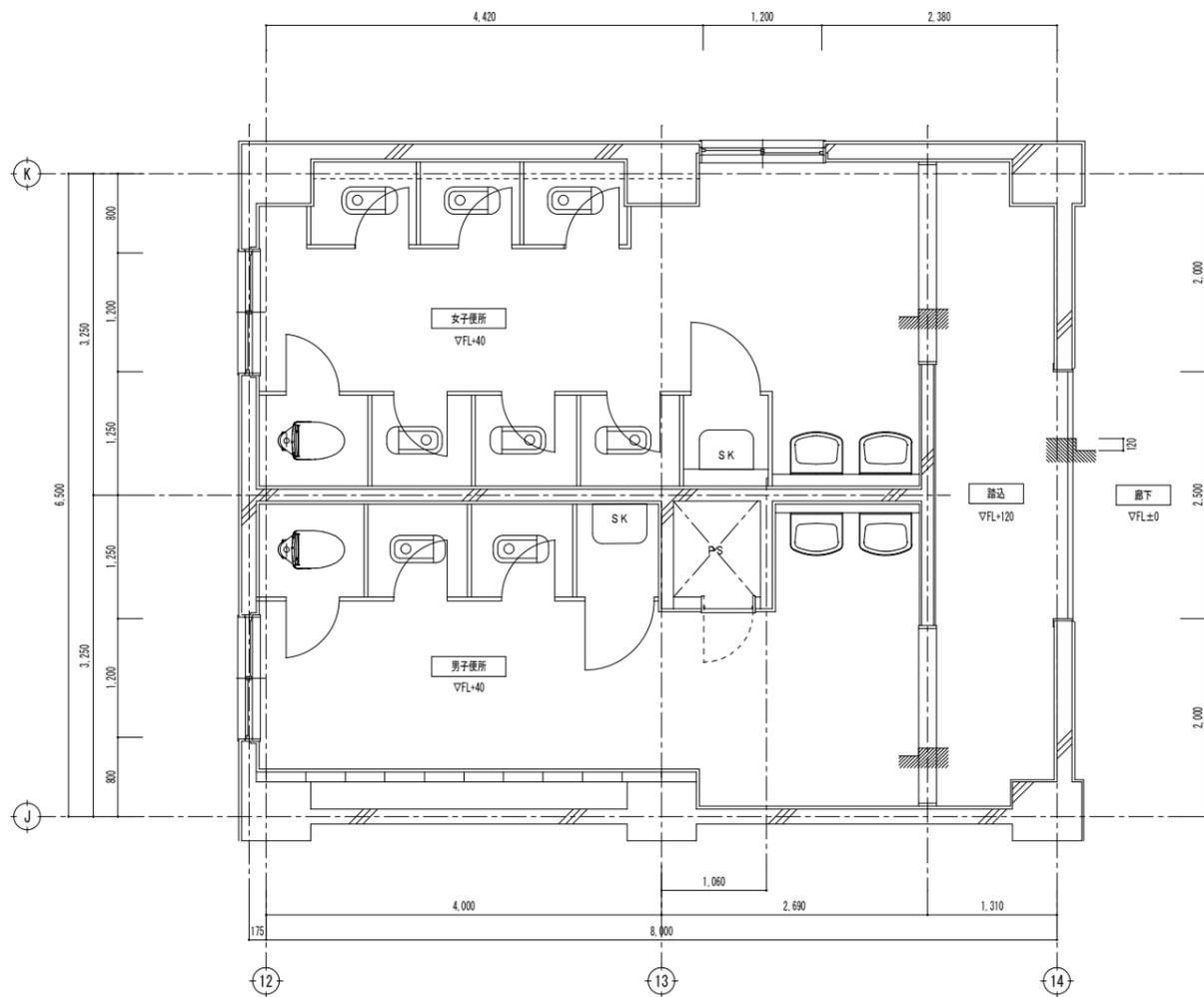
改修後 平面詳細図 1/50

・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

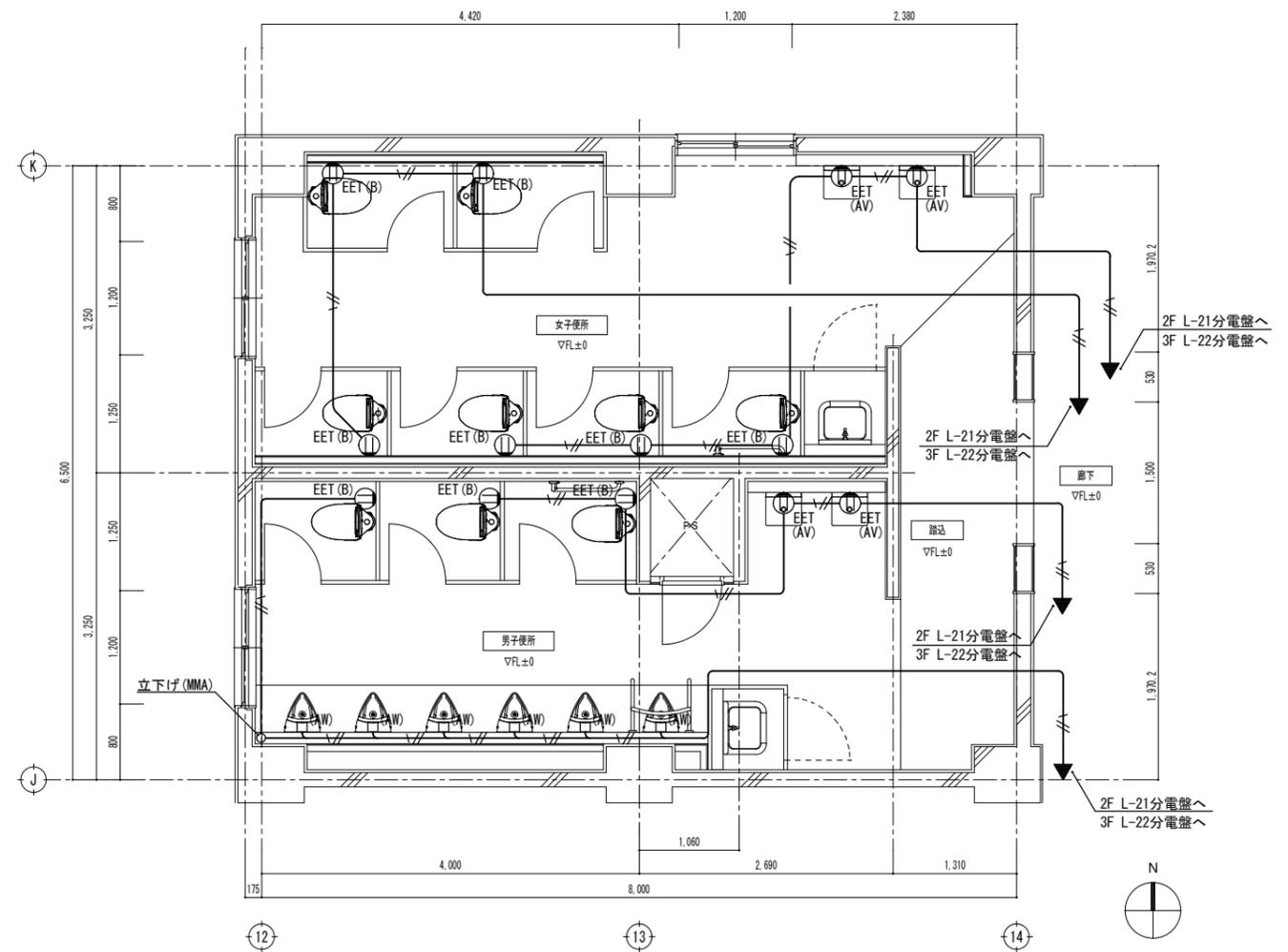
×印は撤去器具を示す。

記号	凡 例
▽	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
FM▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
●2-SL	切換スイッチ 2回路用 (参考: WTK5822W)
注記: センサー位置は発注者と協議の上施工すること。	

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



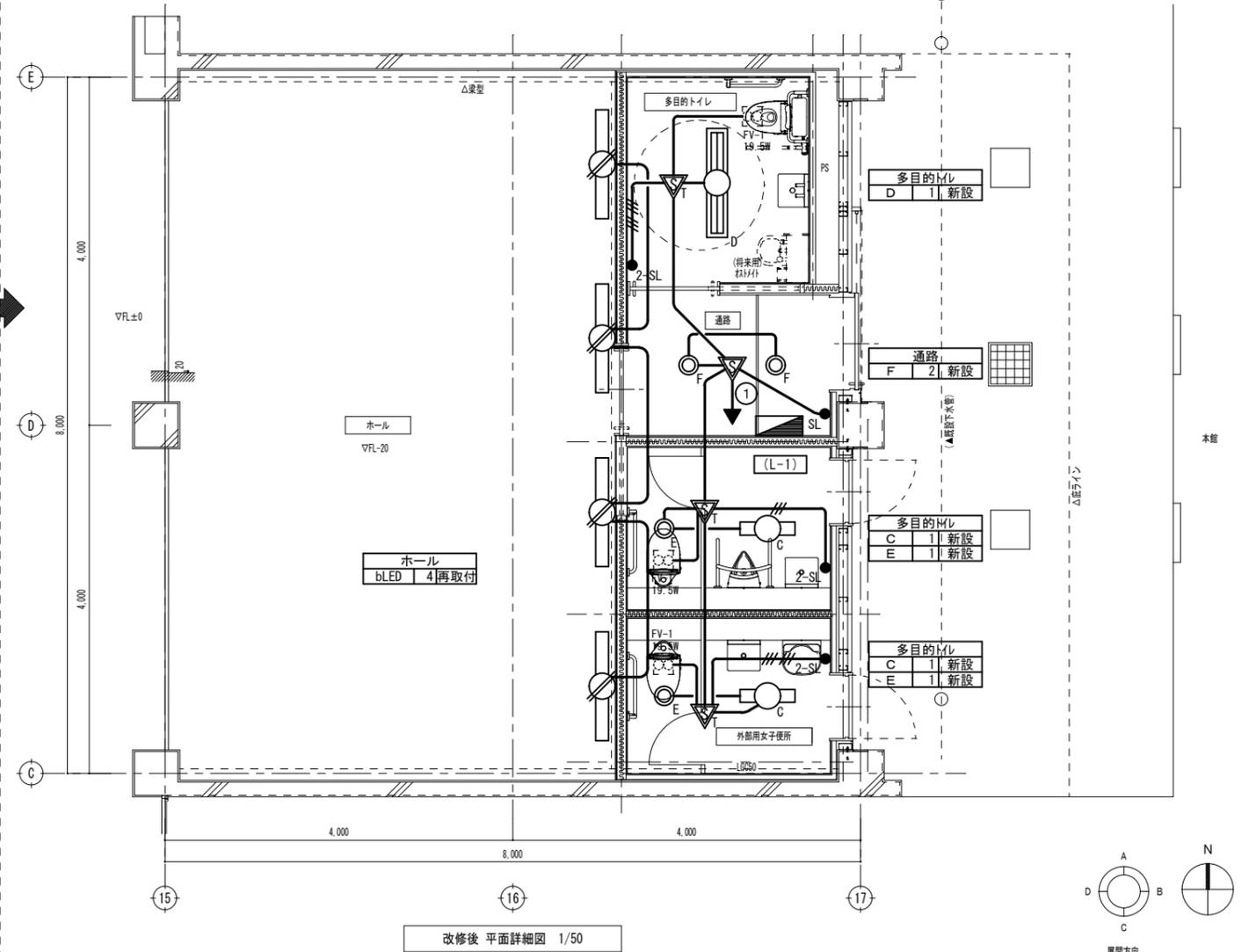
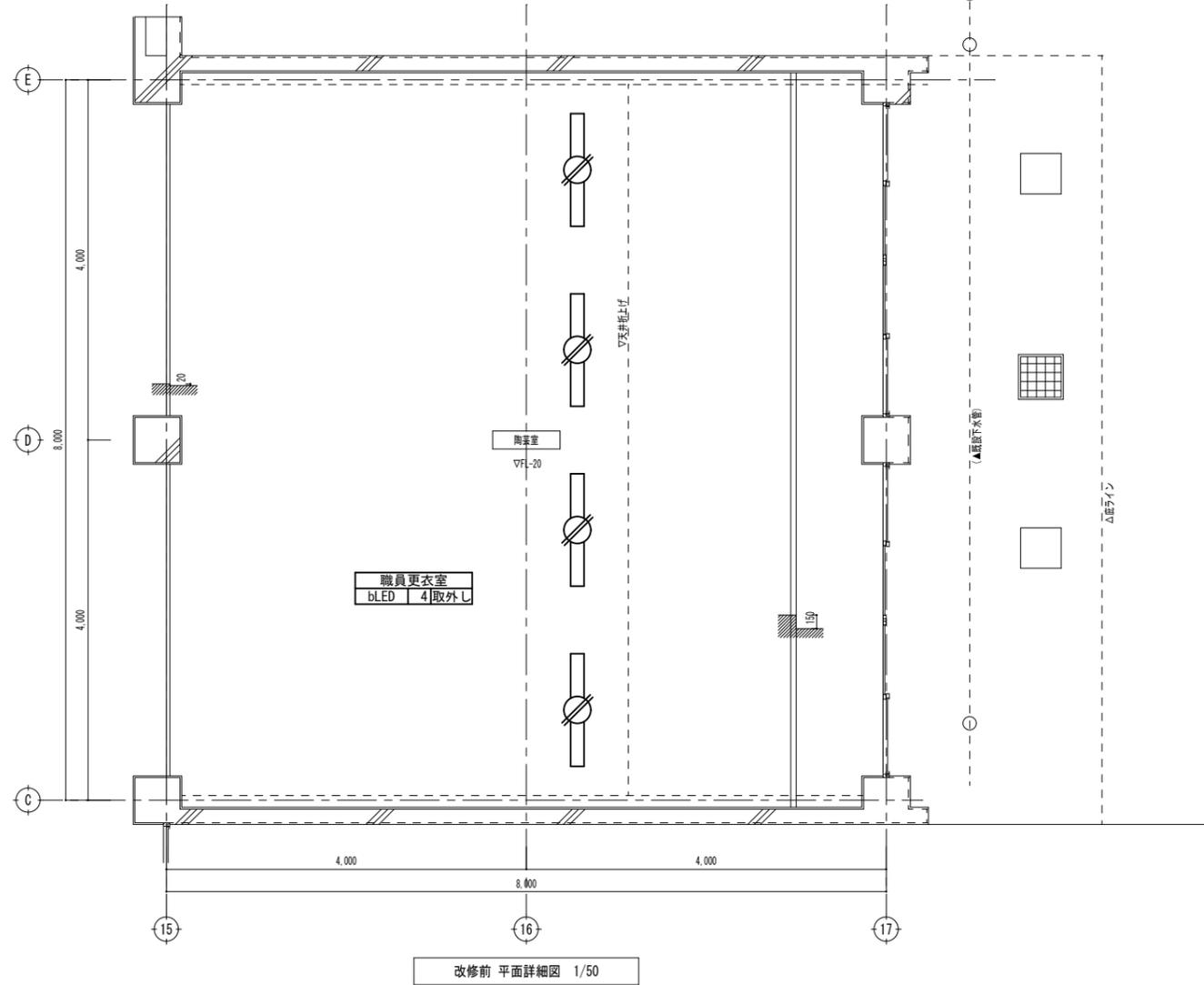
改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

記号	凡例	用途
EET(B) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET(AV) (Ⓛ)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用
(AW) (□)		小便器自動洗浄器

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF2.0-3c (PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 露出部分は防火による保護とする。



・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

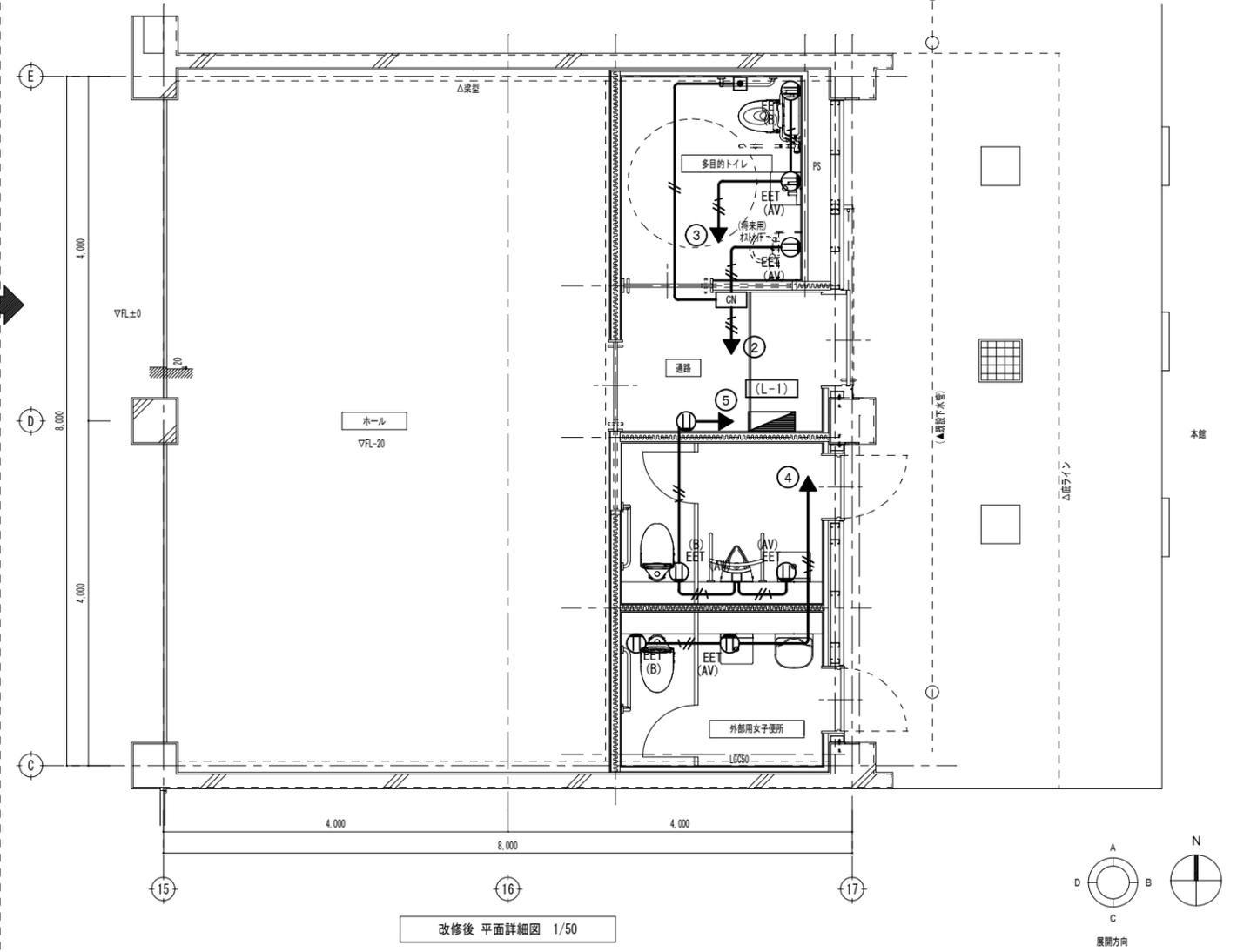
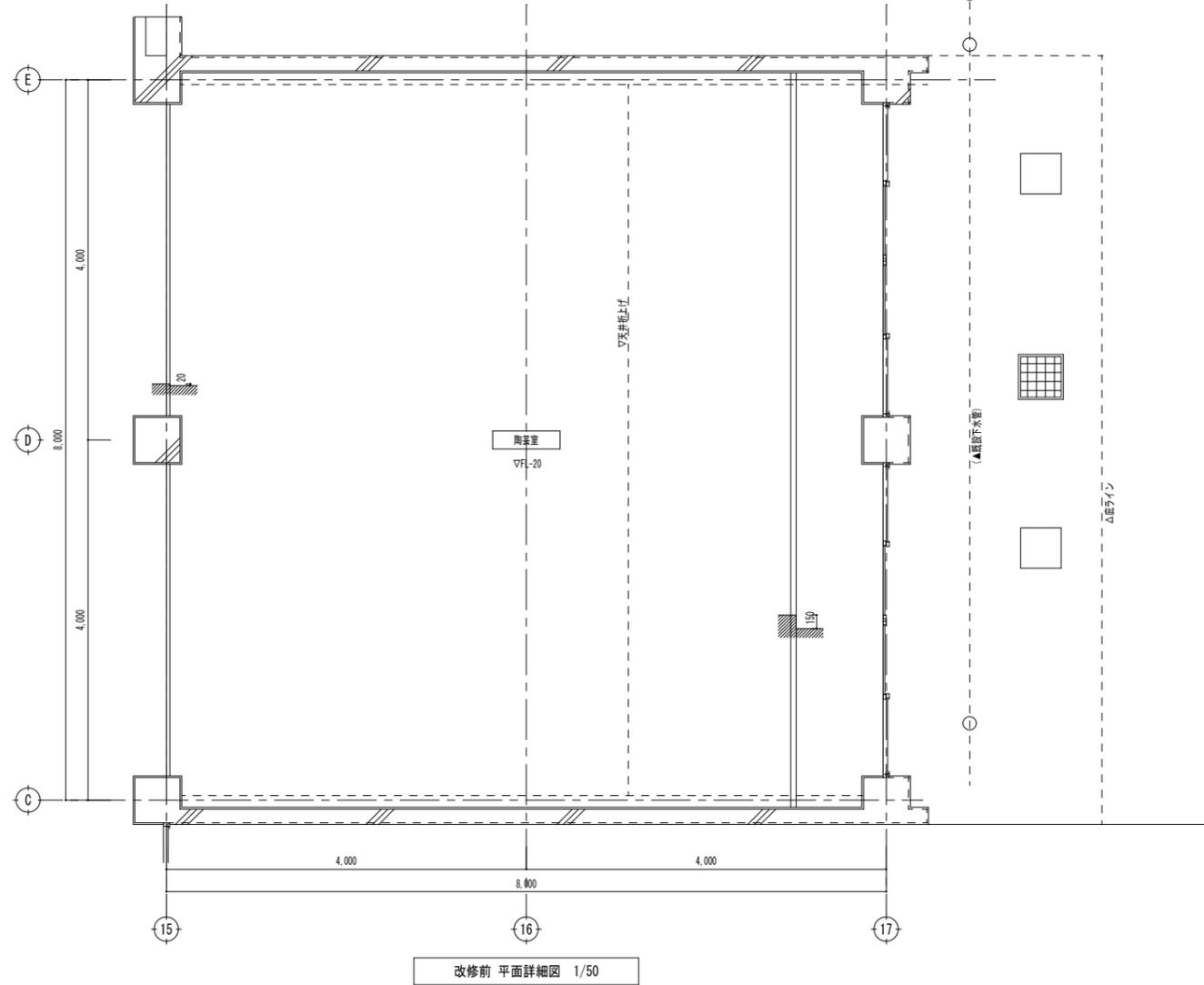
左記印は既設再利用器具を示す。

記号	凡 例
	熱線センサ-自動スイッチ 親器 (参考:WTK24818)
	熱線センサ-自動スイッチ (参考:WTK2614K) 換気扇連動
	2-SL 切換スイッチ 2回路用 (参考:WTC5822WK)
	天井扇 別途工事

注記: センサ位置は発注者と協議の上施工すること。

左記印は既設再利用器具を示す。

特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF1.6-2c (PF16)
 EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
 ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

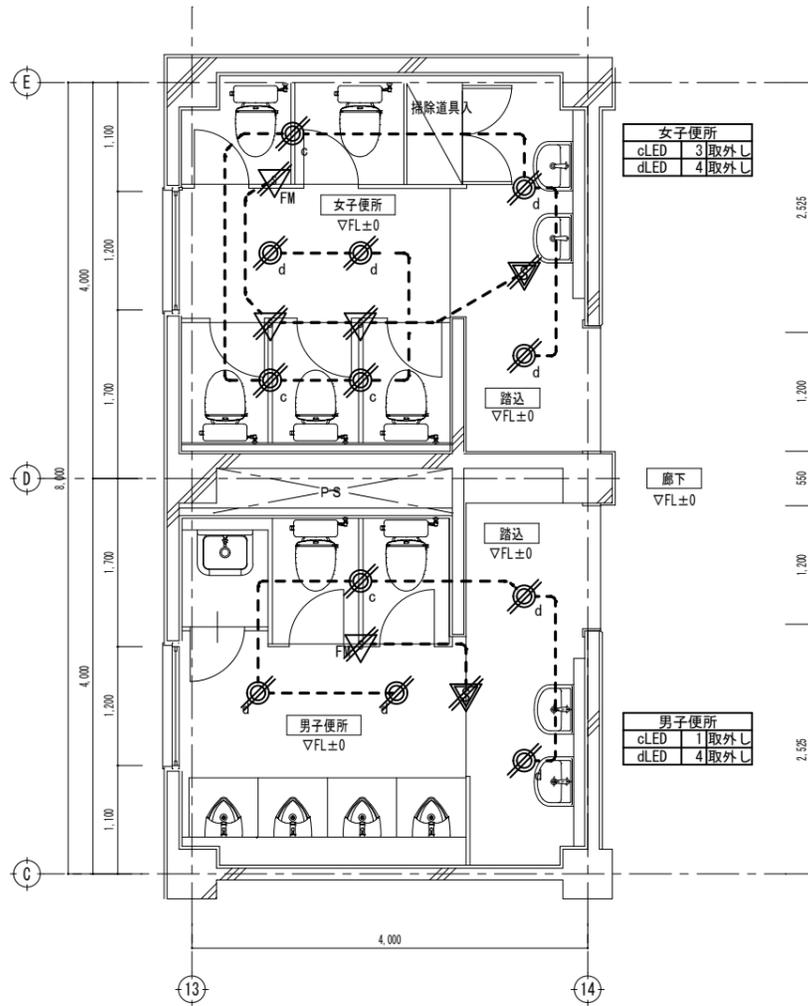
左記印は既設再利用器具を示す。
 破線は既設のままを示す。

記号	凡例	用途
□ CN	埋込型表示器	1窓
□	呼出ボタン	引きひも付き

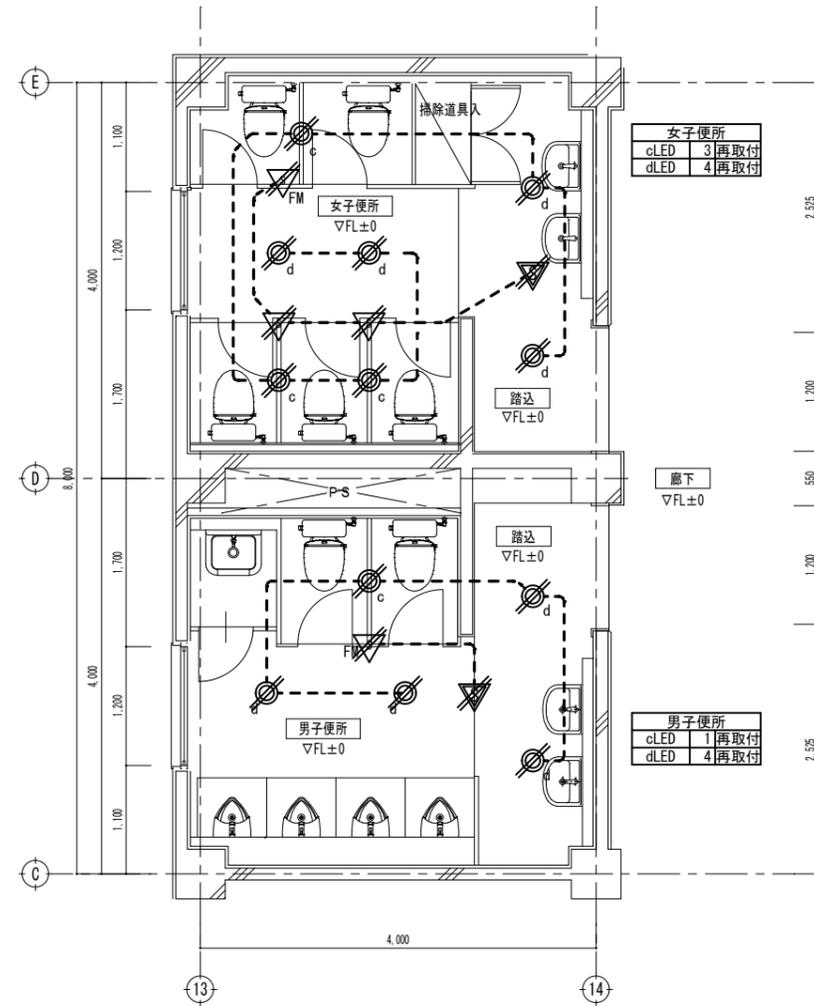
特記なき配管・配線は下記とする。
 EM-EEF2.0-3c (PF22)
 EM-AE1.2-2c (PF22)
 二重天井内はケーブル工事とする。

破線は既設のままを示す。

記号	凡例	用途
EET (B)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	便座用
EET (AV)	埋込コンセント2P15A×1 E極・ET付	自動手洗器用



改修前 平面詳細図 1/50
※天井改修のみ



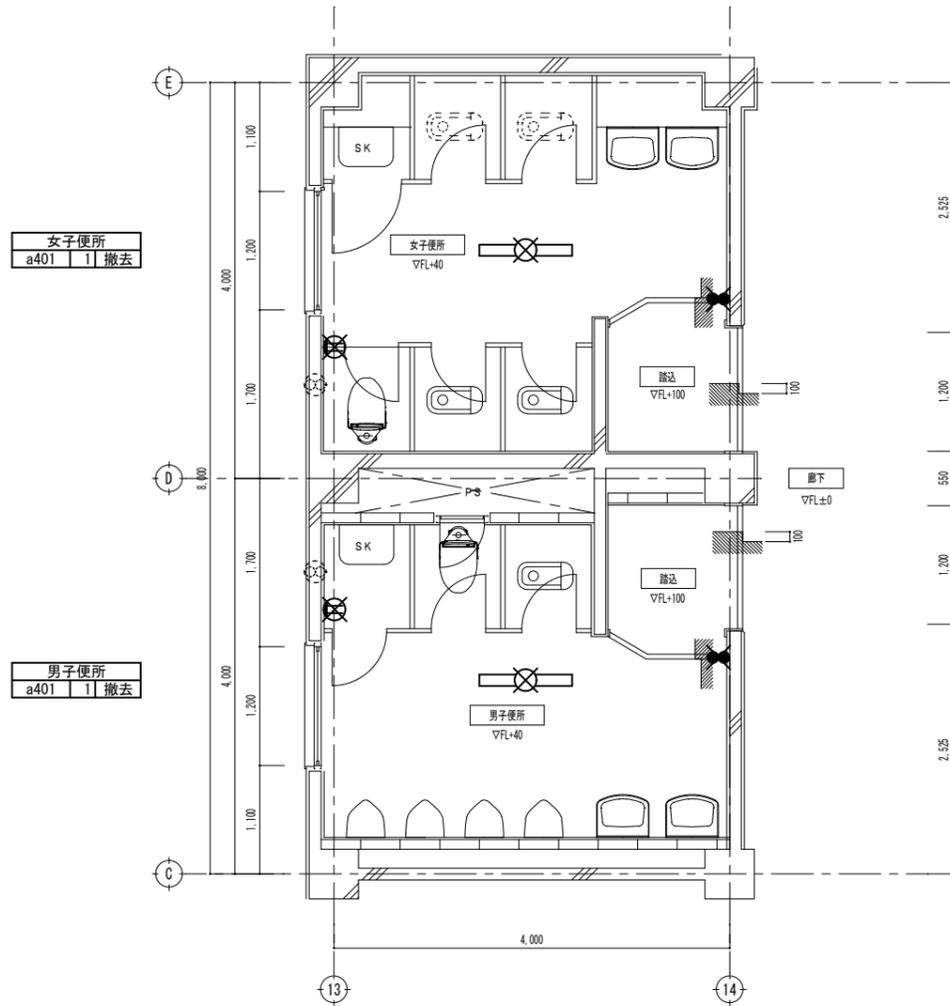
改修後 平面詳細図 1/50
※天井改修のみ

--- 破線は既設のままを示す。
/ 左記印は既設再利用器具を示す。

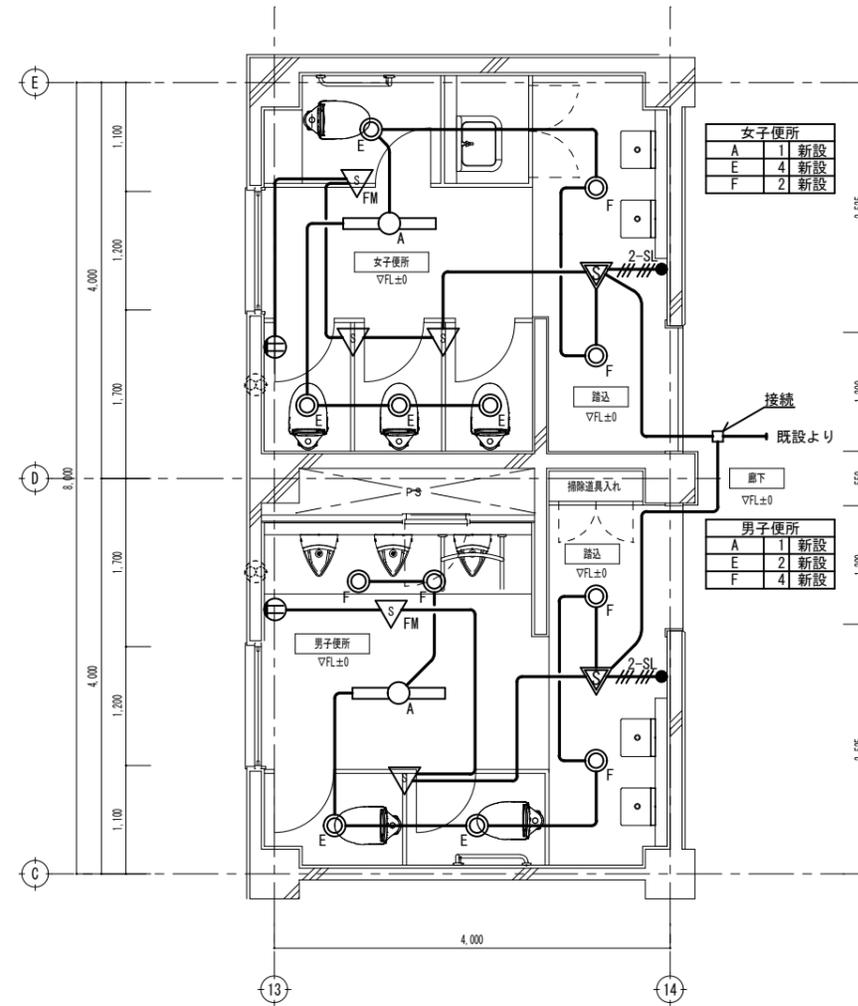
--- 破線は既設のままを示す。
/ 左記印は既設再利用器具を示す。

記号	凡 例
▽	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
FM▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
●2-SL	切換スイッチ 2回路用 (参考: WTC5822W)

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。



改修前 平面詳細図 1/50



改修後 平面詳細図 1/50

- ・図中に於いて撤去を示す機器は全て撤去とする。
- ・機器撤去に伴い不要となる配線、配管は原則として全て撤去とする。

×印は撤去器具を示す。

記号	凡 例
▽	熱線センサー自動スイッチ 親器 (参考: WTK24818)
▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK29129)
FM▽	熱線センサー自動スイッチ 子器 (参考: WTK2933K) 換気扇連動
●2-SL	切換スイッチ 2回路用 (参考: WTK5822W)
注記: センサー位置は発注者と協議の上施工すること。	

特記なき配管・配線は下記とする。
 — EM-EEF1.6-2c (PF16)
 — EM-EEF1.6-3c (PF16)
 二重天井内はケーブル工事とする。
 第1分岐までは2.0mmとする。